

授業科目名	総合国語						
担当者	仲村 稔						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)本科目の目的は、広く社会に通用する国語の知識、言語表現能力を身につけることにある。							
(到達目標) 社会人として、また医療人として求められる基礎的な国語力を身につける。 わかりやすい国語表現について理解し、実践できるようになる。 文章作成における基本的方法を学ぶ。また、医療人として必要な論理的文章表現を学修する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	講義の概要説明 国語の常識			講義	仲村 稔		
2	日本文学史 ～文学の流れ～			講義	仲村 稔		
3	日本文学史 ～文学の流れ～			講義	仲村 稔		
4	日本文学史 ～文学の流れ～ / 郷土の文学 (琉球文学と沖縄の文学)			講義	仲村 稔		
5	郷土の文学 (琉球文学と沖縄の文学)			講義	仲村 稔		
6	国語表現 人とつながるコミュニケーション			講義	仲村 稔		
7	国語表現 人とつながるコミュニケーション			講義	仲村 稔		
8	国語表現 人とつながるコミュニケーション			講義	仲村 稔		
9	国語表現 ことばの力を磨こう 言語表現力・思考力を高める			講義	仲村 稔		
10	国語表現 ことばの力を磨こう 言語表現力・思考力を高める			講義	仲村 稔		
11	文章力を磨こう 「調べる」「考える」「書いて伝える」を身につける			講義	仲村 稔		
12	文章力を磨こう 「調べる」「考える」「書いて伝える」を身につける			講義	仲村 稔		
13	文章力を磨こう 「調べる」「考える」「書いて伝える」を身につける			講義	仲村 稔		
14	文章力を磨こう 「調べる」「考える」「書いて伝える」を身につける			講義	仲村 稔		
15	筆記試験・まとめ			講義・試験	仲村 稔		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	心理学						
担当者	野村 学						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)テキストにそって、心理学の様々な分野について概観し、リハビリ実務者にとって有効な心理学的視点を学んでいく。							
(到達目標) 心理学の基礎知識を役立てて、人間の心や行動を理解しようとする姿勢を持つことができる。 人間の心や行動が様々な要因(生物 心理 社会的要因)の影響を受けている事を理解できる。 心理学的視点を、自己理解にも活かすことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	イントロダクション 心理学を学ぶにあたって			講義	野村 学		
2	心理学とは			講義	野村 学		
3	感覚・知覚・注意・認知			講義	野村 学		
4	情動・動機付け・パーソナリティ・社会			講義	野村 学		
5	記憶・学習			講義	野村 学		
6	言語・概念・思考			講義	野村 学		
7	発達と知能			講義	野村 学		
8	臨床心理学とは			講義	野村 学		
9	防衛機制			講義	野村 学		
10	心理アセスメント			講義	野村 学		
11	臨床で用いられる心理検査			講義	野村 学		
12	臨床心理学の介入方法(行動的)			講義	野村 学		
13	臨床心理学の介入方法(内面的)			講義	野村 学		
14	臨床心理学の介入方法(相談的)			講義	野村 学		
15	まとめ・期末試験			講義・試験	野村 学		
期末試験(70)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(出席日数)(30)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
リハベーシック 心理学・臨床心理学		内山靖・藤井浩美・立石雅子 編		医歯薬出版株式会社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	物理学						
担当者	與儀 達裕						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標							
<p>(概要) てこの原理と種類、つりあいに必要な力。 力の作用・反作用と摩擦力、つりあいに必要な力。 電気回路とオームの法則。 原子の世界(X線、γ線、α線)。</p>							
<p>(到達目標) 力のモーメントとは何か理解し、力のモーメントを計算できること。 電流が磁界から力を受けること、導体が磁界中で働くと起電力が生ずること。 X線、γ線、α線、β線を理解できること。放射線の取り扱いを理解すること。</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	何故物理が必要か?バネの伸びと力の合成			講義	與儀 達裕		
	テコの原理と第1のテコ 演習1			講義	與儀 達裕		
	第2のテコ、第3のテコ 演習2			講義	與儀 達裕		
	輪軸、滑車、歯車 演習3			講義	與儀 達裕		
	生体の中のテコ 演習4			講義	與儀 達裕		
	下肢に存在するテコ 演習5			講義	與儀 達裕		
	作用・反作用、力の分解、斜面、摩擦力 演習6			講義	與儀 達裕		
	まとめ・中間試験			講義・試験	與儀 達裕		
	力学的仕事とエネルギー 演習7			講義	與儀 達裕		
	浮力と水の圧力 演習8			講義	與儀 達裕		
	帯電列、電気回路、磁界から受ける力			講義	與儀 達裕		
	磁界中での導体の運動による起電力 演習9			講義	與儀 達裕		
	波、音、熱、光、電磁波、X線			講義	與儀 達裕		
	γ 線、放射線の取り扱い、半価層、半減期 演習10			講義	與儀 達裕		
	まとめ・期末試験			講義・試験	與儀 達裕		
<p>期末試験(50)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(中間試験)(50)%</p>							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
PT・OT・PO身体運動の理解につなげる物理学				南江堂			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	生物学						
担当者	砂川 昌信/ 照屋 若夏/ 専任教員						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)リハビリテーション医療を理解する上で必要な生物の知識を「人体のしくみ」を中心に学ぶ。							
(到達目標) 生物の用語を含めた基礎知識を理解できる 生物の知識と人体の構造や機能とつなげて考えることができる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	細胞のしくみ			講義	照屋 若夏		
2	細胞のはたらき			講義	照屋 若夏		
3	生体物質のはたらき			講義	照屋 若夏		
4	遺伝子とそのはたらき			講義	照屋 若夏		
5	生殖と遺伝			講義	照屋 若夏		
6	体液の恒常性			講義	照屋 若夏		
7	体温のしくみ			講義	照屋 若夏		
8	刺激伝達のしくみ			講義	砂川 昌信		
9	神経のしくみ			講義	砂川 昌信		
10	特殊感覚			講義	砂川 昌信		
11	生体防御と循環			講義	照屋 若夏		
12	呼吸系のしくみ			講義	照屋 若夏		
13	排泄や吸収系のしくみ			講義	照屋 若夏		
14	内分泌系のしくみ			講義	照屋 若夏		
15	まとめ			講義・試験	照屋 若夏		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
看護に必要なやりなおし生物・化学		時政 孝行		照林社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
楽しくわかる生物・化学・物理		岡田 隆夫		羊土社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
生物は「人体のしくみ」を知る上での基盤となり、理学療法士をめざす上ではとても重要な科目となります。また入学後、すぐに始まる解剖・生理学の理解の一助となると思います。覚えることが多い科目ですが、自分の体や日常生活に目を向けながら、関連付けて覚えていきましょう。							

授業科目名	医学関連英語						
担当者	新垣 均						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)医療専門職として医学用語を国際共通語である英語で理解することがより深い知識向上に繋がる。							
(到達目標) 英語医学用語の構成を理解し、用語の組立ができるようになる。 筋肉・骨格を英名で理解できるようになる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	基本用語及びテキストフレーム P1~150			講義	新垣 均		
2	基本用語及びテキストフレーム P151~300			講義	新垣 均		
3	基本用語及びテキストフレーム P301~450			講義	新垣 均		
4	テキストフレーム P451~600			講義	新垣 均		
5	クイズ1	テキストフレーム P601~750		講義	新垣 均		
6		テキストフレーム P751~900		講義	新垣 均		
7		テキストフレーム P901~1050		講義	新垣 均		
8		テキストフレーム P1051~1200		講義	新垣 均		
9	クイズ2	テキストフレーム P1201~1350		講義	新垣 均		
10		テキストフレーム P1351~1500		講義	新垣 均		
11	医学省略語			講義	新垣 均		
12	医学省略語			講義	新垣 均		
13	クイズ3	医学用語 骨格編		講義	新垣 均		
14		医学用語 筋肉編		講義	新垣 均		
15	まとめ			講義・試験	新垣 均		
期末試験(50)% 提出物()% 小テスト(45)% 実技試験()% 口頭試験()% 発表()% その他(出欠・受講態度等)(5)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
プログラム学習による医学用語の学び方				医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
暗記事項が多いので毎回講義後復習し、記憶することが必要です。							

授業科目名	人間発達学						
担当者	溝田 康司						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 理学療法・作業療法の基礎として、各年齢の発達段階を、胎生期から老年期に渡る生涯発達学としての人間発達を学ぶ。また、フロイトやエリクソン、ピアジェといった生得的要因と環境要因の双方から俯瞰した発達理論の概要を学び、発達の課題について理解を深める。							
(到達目標) 1) 胎生期から終末を迎えるまでの人(ヒト)の発達過程について理解する。 2) 人(ヒト)は生涯にわたって発達する存在であることを理解する。 3) 発達論の概要にふれ、人(ヒト)の発達が生物学的な存在である一方環境と関わりながら社会的存在であることを理解する。 4) 各年齢期の発達課題を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
初回到配布する講義進行表に記載された教科書の該当ページを事前学習として一読して講義に臨むこと。 講義3回目から14回目まで毎回web復習クイズを実施。各講義終了時に当日の学びの振り返りシートを記載し提出。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	オリエンテーション(自己紹介・系統発生と個体発生)				溝田 康司		
	人間発達学とは				溝田 康司		
	発育の4原則			講義	溝田 康司		
	胎芽期・胎児期・出生の概要			講義	溝田 康司		
	出生・新生児期の概要			講義・クイズ	溝田 康司		
	乳児期(生理機能・運動発達)の概要			講義・クイズ	溝田 康司		
	反射・反応の概要			講義・クイズ	溝田 康司		
	運動発達の概要			講義・クイズ	溝田 康司		
	認知/言語/社会巧緻動作/等の発達			講義・クイズ	溝田 康司		
	5歳までの発達・ピアジェの発達理論			講義・クイズ	溝田 康司		
	ピアジェの発達理論・VTR			講義・クイズ	溝田 康司		
	フロイト・エリクソン・ゲゼルの発達理論			講義・クイズ	溝田 康司		
	学童期・青年期			講義・クイズ	溝田 康司		
	壮年期・高齢期・まとめ			講義・クイズ	溝田 康司		
	試験				溝田 康司		
	期末試験(90)%	提出物()%	小テスト()%	実技試験()%			
	口頭試問()%	発表()%	その他()%				
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社				
	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 『人間発達学』	福田恵美子編	中外医学社				
	書名	著者	出版社				
参考書							
	書名	著者	出版社				
	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平編	メディカルプレス				
	書名	著者	出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回の講義の進行はおおよそ下記の通り。1) Web復習クイズ(10分程度) 2) 教科書講義該当範囲の黙読(10分程度) 3) 当日分の講義概要の説明 4) 講義(50~60分程度) 5) 当日分の振り返りシートの記入(10分程度) 6) 講義終了							

授業科目名	解剖学							
担当者	高山 千利/ 石田 肇/ 泉水 奏							
開講年次	1年	開講期	1年前期,1年後期		授業回数	120	単位数	4
授業の概要・到達目標								
(概要) 中等教育での生物学の続きとして、解剖学教育では、個体レベルの形態学の認識を深める。解剖学の理解のために、比較解剖学を念頭においた講義を先行して行い、骨学実習や解剖学実習(2年次)を進める。								
(到達目標) 講義と実習を通して、人体の正常構造を理解する。 人体の構造に付けられた解剖学用語を習得する。 解剖学用語と人体構造の実物ならびに画像を結びつけることができる科学的思考を身につける。								
履修における注意事項(受講ルールなど)								
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。								
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1・2	骨学・靭帯学総論				講義	石田 肇		
3・4	骨学・靭帯学(頭蓋)				講義	石田 肇		
5・6	骨学実習				講義	石田 肇		
7・8	骨学実習				講義	石田 肇		
9・10	骨学実習および口頭試問				講義	石田 肇		
11・12	骨学・靭帯学(上肢骨)				講義	石田 肇		
13・14	骨学・靭帯学(脊椎)				講義	石田 肇		
15・16	骨学・靭帯学(下肢骨)				講義	石田 肇		
17・18	解剖学総論 解剖学とは - 細胞と組織				講義	泉水 奏		
19・20	組織(骨、筋肉、神経)				講義	泉水 奏		
21・22	循環系(心臓)				講義	泉水 奏		
23・24	循環系(大循環)、呼吸器系				講義	泉水 奏		
25・26	消化器系1				講義	泉水 奏		
27・28	消化器系2				講義	泉水 奏		
29・30	泌尿器系				講義	泉水 奏		
31・32	生殖器、内分泌系				講義	泉水 奏		
33・34	感覚器系、頭部の筋				講義	泉水 奏		
35・36	骨学まとめ・試験および筋学総論まとめ・試験				講義・試験	石田 肇		
37・38	脊髄神経				講義	高山 千利		
39・40	脳神経				講義	高山 千利		
41・42	脳神経核				講義	高山 千利		
43・44	脊髄、脳				講義	高山 千利		
45・46	運動系伝導路				講義	高山 千利		
47・48	感覚系伝導路				講義	高山 千利		
49・50	まとめ・試験				講義・試験	泉水 奏/高山 千利		
51・52	筋学(上肢)				講義	石田 肇		
53・54	筋学(上肢)				講義	石田 肇		
55・56	筋学(下肢)				講義	石田 肇		
57・58	筋学(下肢)				講義	石田 肇		
59・60	筋学(下肢)およびまとめ・試験				講義・試験	石田 肇		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%								
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。								
教科書								
書名			著者			出版社		
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系						医学書院		
書名			著者			出版社		

標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学		医学書院
参 考 書		
書 名	著 者	出 版 社
書 名	著 者	出 版 社
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）		

授業科目名	解剖学演習						
担当者	高山 千利/ 石田 肇						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
<p>(概要)人体解剖学の学部教育では、個体レベルの形態学の認識を深めてゆく必要がある。解剖学実習では、学生たちが後に学ぶ臨床科目との兼ね合いと限られた時間の中で、重点を決めて実習を進めていく。また、画像診断の進展を考え、まさに「切り口」の違いから解剖学はできるが、画像は読めないという状況をなくするため、実習室内で様々な画像(とくに脳)と対比させながら実習を進める。</p> <p>(到達目標) 実習を通して、人体の正常構造を理解する。 人体の構造に付けられた解剖学用語を習得する。 解剖学用語と人体構造の実物ならびに画像を結びつけることができる科学的思考を身につける。</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション			演習	石田 肇		
2	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
3	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
4	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
5	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
6	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
7	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
8	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
9	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
10	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
11	人体解剖学実習見学			演習	石田 肇		
12	神経解剖学実習見学			演習	高山 千利		
13	神経解剖学実習見学			演習	高山 千利		
14	神経解剖学実習見学			演習	高山 千利		
15	神経解剖学実習見学			演習	高山 千利		
期末試験()% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問(40)% 発表()% その他(出席点)(60)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	生理学						
担当者	尾尻 義彦						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)人体のはたらきとメカニズムを理解し、医療従事者として基礎知識を習得する。							
(到達目標) 人体のはたらきとメカニズムが理解できる。 わからないことや興味のある事柄は自分で調べられる。 要点をまとめて、わかりやすく説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	第1章 生命現象と人体			講義	尾尻 義彦		
	第1章 生命現象と人体			講義	尾尻 義彦		
	第2章 細胞の構造と機能			講義	尾尻 義彦		
	第2章 細胞の構造と機能			講義	尾尻 義彦		
	第3章 神経の興奮伝導と末梢神経			講義	尾尻 義彦		
	第3章 神経の興奮伝導と末梢神経			講義	尾尻 義彦		
	第4章 中枢神経系			講義	尾尻 義彦		
	第4章 中枢神経系			講義	尾尻 義彦		
	第5章 筋と骨			講義	尾尻 義彦		
	第5章 筋と骨			講義	尾尻 義彦		
	第6章 感覚			講義	尾尻 義彦		
	第6章 感覚			講義	尾尻 義彦		
	第7章 血液			講義	尾尻 義彦		
	第7章 血液			講義	尾尻 義彦		
	まとめ・試験			講義・試験	尾尻 義彦		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 生理学				医学書院			
書名		著者		出版社			
PT・OT 基礎から学ぶ生理学 ノート				医葉薬出版			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	生理学						
担当者	尾尻 義彦						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)人体のはたらきとメカニズムを理解し、医療従事者として基礎知識を習得する。							
(到達目標) 人体のはたらきとメカニズムが理解できる。 わからないことや興味のある事柄は自分で調べられる。 要点をまとめて、わかりやすく説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	第8章 心臓と循環			講義	尾尻 義彦		
	第8章 心臓と循環			講義	尾尻 義彦		
	第9章 呼吸とガスの運搬			講義	尾尻 義彦		
	第9章 呼吸とガスの運搬			講義	尾尻 義彦		
	第10章 尿の生成と排泄			講義	尾尻 義彦		
	第10章 尿の生成と排泄			講義	尾尻 義彦		
	第11章 酸塩基平衡			講義	尾尻 義彦		
	第12章 消化と吸収			講義	尾尻 義彦		
	第12章 消化と吸収			講義	尾尻 義彦		
	第13章 内分泌			講義	尾尻 義彦		
	第14章 代謝と体温			講義	尾尻 義彦		
	第14章 代謝と体温			講義	尾尻 義彦		
	第15章 生殖と発生・成長と老化			講義	尾尻 義彦		
	第16章 運動生理			講義	尾尻 義彦		
	まとめ・試験			講義・試験	尾尻 義彦		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名			著者	出版社			
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 生理学				医学書院			
書名			著者	出版社			
PT・OT 基礎から学ぶ生理学 ノート				医葉葉出版			
参考書							
書名			著者	出版社			
書名			著者	出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	生理学						
担当者	松下 正之						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)生理学の基礎である細胞の機能と臓器や個体の制御機構を理解する。特に、本講義では神経系、感覚器、運動などの動物性生理学についての各論について講義を行う。							
(到達目標) 生理学の基礎である、細胞の機能や恒常性維持機構を学ぶ。 神経や感覚器などについて理解する。 筋肉や骨格による運動の生理学を学ぶ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	生理学の基礎1:細胞機能			講義	松下 正之		
2	生理学の基礎2:核酸と遺伝子、幹細胞			講義	松下 正之		
3	神経系の基本的機能1:神経細胞			講義	松下 正之		
4	神経系の基本機能2:神経の伝達			講義	松下 正之		
5	神経系の基本機能3シナプスの機能			講義	松下 正之		
6	末梢神経			講義	松下 正之		
7	中枢神経			講義	松下 正之		
8	自律神経			講義	松下 正之		
9	感覚生理1:総論、体性感覚、化学感覚			講義	松下 正之		
10	感覚生理2:視覚、聴覚			講義	松下 正之		
11	運動生理1:筋肉の種類と性質			講義	松下 正之		
12	運動生理2:骨格筋の生理学			講義	松下 正之		
13	病態生理1:精神疾患			講義	松下 正之		
14	病態生理2:脳梗塞			講義	松下 正之		
15	まとめ・試験			講義・試験	松下 正之		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名			著者	出版社			
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 生理学				医学書院			
書名			著者	出版社			
PT・OT 基礎から学ぶ生理学ノート				医葉葉出版			
参考書							
書名			著者	出版社			
書名			著者	出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	生理学演習						
担当者	佐久田 衛/ 青野 健治/ 島袋 公史/ 平良 進						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)主たる生理機能である、心・循環・呼吸・筋活動のそれぞれについて、基本的な機能評価とそのプロセスについて学ぶ。							
(到達目標)各項目について、評価の意義及び意味を説明することができる。 各項目について、検査機器の実際的な操作方法を身につけ、実施できる。 各検査項目より得られたデータを解釈し、説明することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
事前に項目毎の予備知識を整理しておく。個々の実習の目的 実習進行上の手順について確実に身につけておく。 手引きに不明の事項などがあれば、文献等で確認し、また指導教員に確認しておく。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション(概要説明・準備・注意事項など)				青野 健治		
2	事前学習(グループ及び個別)・呼吸				佐久田 衛/ 島袋 公史		
3	事前学習(グループ及び個別)・筋電図				平良 進		
4	事前学習(グループ及び個別)・心電図				青野 健治		
5	演習 呼吸				佐久田 衛/ 島袋 公史		
6	演習 呼吸				佐久田 衛/ 島袋 公史		
7	まとめ 呼吸				佐久田 衛/ 島袋 公史		
8	演習 筋電図 / 心電図				青野 健治/ 平良 進		
9	演習 筋電図 / 心電図				青野 健治/ 平良 進		
10	演習 筋電図 / 心電図				青野 健治/ 平良 進		
11	演習 筋電図 / 心電図				青野 健治/ 平良 進		
12	まとめ 心電図				青野 健治		
13	まとめ 筋電図				平良 進		
14	まとめ 筋電図				平良 進		
15	総まとめ				青野 健治		
期末試験(50)% 提出物(25)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(発表、態度など)(25)% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
PT・OT 基礎から学ぶ生理学ノート				医歯薬出版			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
わからないことは授業中、授業外を問わず質問して構わないので、学修内容を理解するよう努めること。また、講義終了後には事後学修として、該当範囲の内容の整理をしておくこと。							

授業科目名	運動学総論							
担当者	久高 将臣							
開講年次	1年	開講期	1年前期,1年後期		授業回数	46	単位数	2
授業の概要・到達目標								
(概要)基礎科目で学ぶ「物理学」と、専門基礎科目で学ぶ「解剖学」および「生理学」を用いてヒトの動きをとらえるための視点を学び、運動学 や運動学 を学ぶための基礎知識を身につける。								
(到達目標)1.運動学を構成する解剖学や生理学ならびに物理学との関連を理解する。 2.運動学の基本的用語を習得する。 3.ヒトの動きの基本的な概要を理解できる科学的思考を身につける。								
履修における注意事項(受講ルールなど)								
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。								
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	運動学とは(P1～P18)、					講義	久高 将臣	
2・3	身体力学の基礎(P19～P46)					講義	久高 将臣	
4	骨と関節運動					講義	久高 将臣	
5・6	運動器の構造と機能(骨)					講義・演習	久高 将臣	
7・8	運動器の構造と機能(関節)					講義	久高 将臣	
9	運動器の構造と機能(腱・靭帯)					講義	久高 将臣	
10・11	運動器の構造と機能(筋)					講義	久高 将臣	
12・13	筋収縮のエネルギー供給・細胞の興奮-脱分極					講義	久高 将臣	
14・15	筋線維の種別と特徴・神経筋接合部、運動単位					講義	久高 将臣	
16	短縮と強縮、筋張力と筋長					講義	久高 将臣	
17	筋収縮の種類と実際(求心性収縮と遠心性収縮、動筋、拮抗筋)					講義	久高 将臣	
18	拮抗筋の作用、固定筋の作用、二関節筋の作用					講義	久高 将臣	
19	反射の基本、伸張反射					講義	久高 将臣	
20	筋紡錘、相反神経支配、腱紡錘、屈曲反射、交差性反射					講義	久高 将臣	
21	姿勢反射、平衡反応と重心					講義	久高 将臣	
22	重心位置の計測					講義・演習	久高 将臣	
23	まとめ					講義・演習	久高 将臣	
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%								
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。								
教科書								
書名			著者			出版社		
基礎運動学 第6版 補訂			中村隆一、齋藤宏、長崎浩			医歯薬出版株式会社		
書名			著者			出版社		
参考書								
書名			著者			出版社		
標準PT・OT専門基礎 解剖学 第4版						医学書院		
書名			著者			出版社		
標準PT・OT専門基礎 生理学 第3版						医学書院		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)								
解剖学・生理学の教科書も並行して読んでみましょう。準備学習として前日に30分程度、教科書等の授業内容に該当するページに目を通しておく。事後学習とし30分程度の時間にて授業で触れた用語を再確認する。								

授業科目名	運動学		
担当者	佐久田 衛		
開講年次	1年	開講期	1年後期
授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標			
(概要) 上肢・下肢の解剖学的及び機能的な作用を学び、ヒトの身体がどのようなメカニズムで動くかを運動学的視点から解釈し、病的運動を理解するための基礎知識を学習する。			
(到達目標) 四肢に関係する機能解剖を理解する。 骨、関節、靭帯及び筋の働きを学び、運動器としての機能を理解する。			
履修における注意事項（受講ルールなど）			
2回目以降は講義開始時に毎回、小テストを行う。 講義で配布する資料や文書等をインターネット上に公開することを禁止する。			
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。			
回数	講義内容	方法 (講義・実技・演習)	担当者
1	肩甲帯の運動	講義	佐久田 衛
2	解剖学的肩関節、機能的肩関節の運動	講義	佐久田 衛
3	肩甲帯の筋と支配神経	講義	佐久田 衛
4	肘・前腕部の運動	講義	佐久田 衛
5	肘・前腕部の筋と支配神経	講義	佐久田 衛
6	手・手指の構造と機能	講義	佐久田 衛
7	手・手指の運動	講義	佐久田 衛
8	手・手指の筋と支配神経	講義	佐久田 衛
9	股関節の運動	講義	佐久田 衛
10	股関節の筋と支配神経	講義	佐久田 衛
11	膝関節の運動	講義	佐久田 衛
12	膝関節の筋と支配神経	講義	佐久田 衛
13	足関節・足部の運動	講義	佐久田 衛
14	足関節・足部の筋と支配神経	講義	佐久田 衛
15	まとめ	講義	佐久田 衛
期末試験 (60) % 提出物 () % 小テスト (40) % 実技試験 () % 口頭試験 () % 発表 () % その他 () () %			
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。			
教科書			
書名	著者	出版社	
基礎運動学 第6版	中村隆一	医歯薬出版株式会社	
書名	著者	出版社	
参考書			
書名	著者	出版社	
書名	著者	出版社	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）			
わからないことがあれば講義中でも構わないので質問すること。講義内容の範囲を教科書で予習・復習をすると理解が深まります。			

授業科目名	運動学						
担当者	平良 進						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 頸部・体幹・胸郭・骨盤の解剖学及び機能的作用を学び、臨床における異常な運動を解析するために必要な姿勢、正常歩行について、基礎知識を学習する。							
(到達目標) 体幹に関係する機能解剖を理解する。 骨、関節、靭帯及び筋の働きを学び、運動器としての機能を理解する。 体節の各運動器が共同して起こる姿勢や正常歩行を学び、異常動作との違いを理解する。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
小テストを実施し、前回講義の確認を行う。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	体幹(骨盤)の運動			講義	平良 進		
	体幹(骨盤)の運動			講義	平良 進		
	体幹(骨盤)の運動			講義	平良 進		
	体幹(骨盤)の運動			講義	平良 進		
	胸郭の運動			講義	平良 進		
	胸郭の運動			講義	平良 進		
	顔面(咀嚼)の運動			講義	平良 進		
	姿勢と身体重心			講義	平良 進		
	姿勢と身体重心			講義	平良 進		
	正常歩行(歩行周期、重心移動、関節角度、筋収縮、床反力)			講義	平良 進		
	正常歩行(歩行周期、重心移動、関節角度、筋収縮、床反力)			講義	平良 進		
	正常歩行(歩行周期、重心移動、関節角度、筋収縮、床反力)			講義	平良 進		
	正常歩行(歩行周期、重心移動、関節角度、筋収縮、床反力)			講義	平良 進		
	正常歩行(歩行周期、重心移動、関節角度、筋収縮、床反力)			講義	平良 進		
	まとめ			試験	平良 進		
期末試験 (50) % 提出物 () % 小テスト (50) % 実技試験 () % 口頭試問 () % 発表 () % その他 (提出物は必要時に実施する。) (0) %							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者			出版社		
基礎運動学		中村隆一			医歯薬出版		
	書名	著者			出版社		
参考書							
	書名	著者			出版社		
プロメテウス							
	書名	著者			出版社		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							

授業科目名	病理学						
担当者	非常勤講師						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)人体の病的な状態を、主に肉眼・顕微鏡を利用した形態学的観察により得られるを基に、疾病の成因や生体反応の意義を認識する学問であり、昨今では分子レベルでの反応を含んだ病因を追求する学問である。人体病態総論とそれぞれの病態の臓器別の疾患を概説する。							
(到達目標)人体における疾患の原因を理解できる。 病態の専門用語を理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	病理学の領域			講義	非常勤講師		
2	細胞・組織とその障害			講義	非常勤講師		
3	再生と修復			講義	非常勤講師		
4	循環障害			講義	非常勤講師		
5	炎症			講義	非常勤講師		
6	免疫とアレルギー			講義	非常勤講師		
7	感染症			講義	非常勤講師		
8	代謝異常			講義	非常勤講師		
9	老化と老年病			講義	非常勤講師		
10	新生児の病理			講義	非常勤講師		
11	先天異常			講義	非常勤講師		
12	腫瘍			講義	非常勤講師		
13	生命の危機			講義	非常勤講師		
14	まとめ			講義	非常勤講師		
15	まとめ			講義・試験			
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
カラーで学べる病理学				ヌーヴェルヒロカワ			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

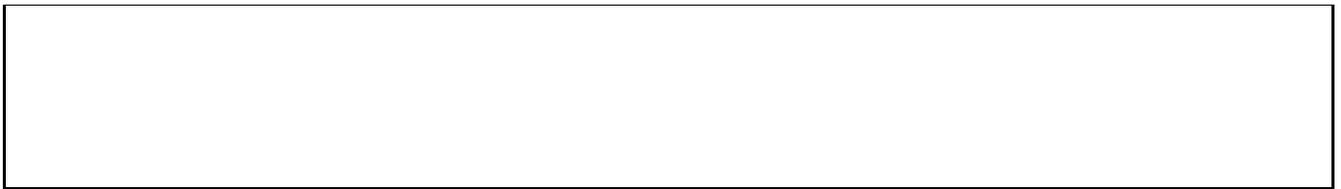
授業科目名	神経内科学						
担当者	遠藤 一博/ 崎間 洋邦/ 神里 尚美/ 西村 正彦/ 仲地 耕/ 非常勤講師/ 末吉 健志						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	52	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) P.T.O.Tに必要な神経系機能解剖と疾患の病態を理解させる。							
(到達目標) 病態を理解するための神経機能解剖を学ぶ。 正しい神経学用語を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	神経診察法(意識の神経機構・生理・解剖)			講義	神里 尚美		
2	神経診察法(頭蓋内圧の神経機構、てんかん・脳波、感染症)			講義	神里 尚美		
3	筋疾患(自己免疫機構、多発筋炎、重症筋無力症)			講義	神里 尚美		
4	筋疾患(分子遺伝、筋ジストロフィー、代謝性疾患)			講義	神里 尚美		
5	末梢神経障害(自己免疫機構、GBS / CIDP)			講義	神里 尚美		
6	神経診察法(脳神経の生理・解剖)			講義	崎間 洋邦		
7	神経診察法(感覚系の生理・解剖)			講義	崎間 洋邦		
8	神経診察法(運動系・反射の生理・解剖)			講義	崎間 洋邦		
9	神経診察法(協調運動・自律神経の生理・解剖)			講義	崎間 洋邦		
10	神経診察法(痙縮の生理・解剖、ボツリヌス治療)			講義	非常勤講師		
11	神経診察法(高次機能の生理・解剖)			講義	遠藤 一博		
12	中枢神経系・脱髄、変性			講義	遠藤 一博		
13	中間試験・まとめ			講義・試験			
14	脳血管障害(脳梗塞の病型、疫病)			講義	仲地 耕		
15	脳血管障害(脳梗塞の治療、地域連携を含めて)			講義	仲地 耕		
16	神経放射線			講義	西村 正彦		
17	脳腫瘍			講義	西村 正彦		
18	水頭症、脊髄空洞症			講義	西村 正彦		
19	頭部外傷・感染症			講義	西村 正彦		
20	末梢神経障害(ALS)			講義	神里 尚美		
21	分子遺伝(メンデル遺伝、トリプレットリピート、ミトコンドリア遺伝)			講義	神里 尚美		
22	神経診察法(小脳の生理・解剖)、脊髄小脳変性症			講義	神里 尚美		
23	基底核疾患(パーキンソン病など)			講義	神里 尚美		
24	基底核疾患(ジストニア、ボツリヌス治療)			講義	神里 尚美		
25	予備日、試験対策			講義	神里 尚美		
26	期末試験・まとめ			講義・試験			
期末試験(50)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(中間試験)(50)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準理学療法学作業療法学専門分野				医学書院			
書名		著者		出版社			
神経内科学							
参考書							
書名		著者		出版社			
絵でみる脳と神経				医学書院			

書名	著者	出版社
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）		

授業科目名	精神医学						
担当者	宮平 良尚						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	60	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)精神医学の基礎と臨床を学び、精神科リハビリテーションを理解する。							
(到達目標) 精神疾患を理解して説明できる。 精神科リハビリテーションについて理解を深める。 精神障害者に対する理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	精神医学序論			講義	宮平 良尚		
2	医学心理学			講義	宮平 良尚		
3	精神症状学			講義	宮平 良尚		
4	精神医学的診断学			講義	宮平 良尚		
5	統合失調症()			講義	宮平 良尚		
6	統合失調症()			講義	宮平 良尚		
7	気分障害()			講義	宮平 良尚		
8	気分障害()			講義	宮平 良尚		
9	症状・器質性精神障害			講義	宮平 良尚		
10	てんかん			講義	宮平 良尚		
11	アルコール・薬物による精神障害			講義	宮平 良尚		
12	治療論(薬物療法)			講義	宮平 良尚		
13	治療論(精神療法、生活療法)			講義	宮平 良尚		
14	中間特論			講義	宮平 良尚		
15	中間まとめ・試験			講義	宮平 良尚		
16	神経症()			講義	宮平 良尚		
17	神経症()			講義	宮平 良尚		
18	睡眠障害			講義	宮平 良尚		
19	心身症			講義	宮平 良尚		
20	パーソナリティ障害			講義	宮平 良尚		
21	児童・思春期精神医学()			講義	宮平 良尚		
22	児童・思春期精神医学()			講義	宮平 良尚		
23	老年期精神医学()			講義	宮平 良尚		
24	老年期精神医学()			講義	宮平 良尚		
25	精神医学と社会()			講義	宮平 良尚		
26	精神医学と社会()			講義	宮平 良尚		
27	精神科リハビリテーション()			講義	宮平 良尚		
28	精神科リハビリテーション()			講義	宮平 良尚		
29	期末特論			講義	宮平 良尚		
30	期末まとめ・試験			講義・試験	宮平 良尚		
期末試験(90)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(出席状況・態度)(10)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
STEP精神科				海馬書房			
書名		著者		出版社			

参 考 書		
書 名	著 者	出 版 社
現代臨床精神医学	大熊 輝雄	
書 名	著 者	出 版 社
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）		
講義および教科書から得られた知識を、参考書などでさらに広げて理解を深めてください。		

授業科目名	一般臨床医学						
担当者	非常勤講師						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)わが国は超高齢社会となり、内科的疾患をもつリハビリテーション対象者が急増している。内科的疾患の病態や老化現象を理解し、適切なリハビリテーションを行う上での基盤を築く。							
(到達目標)内科的疾患の症候、診断学的手法について説明できる。 臓器や組織の解剖、生理機能について説明できる。 各疾患の概念、病態および老化現象について説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	医学一般総論・概論1			講義	非常勤講師		
2	医学一般総論・概論2			講義	非常勤講師		
3	循環器疾患1			講義	非常勤講師		
4	循環器疾患2			講義	非常勤講師		
5	代謝・内分泌疾患1			講義	非常勤講師		
6	代謝・内分泌疾患2			講義	非常勤講師		
7	呼吸器疾患1			講義	非常勤講師		
8	呼吸器疾患2			講義	非常勤講師		
9	腎・泌尿器疾患1			講義	非常勤講師		
10	腎・泌尿器疾患2			講義	非常勤講師		
11	膠原病・アレルギー疾患			講義	非常勤講師		
12	感染性疾患			講義	非常勤講師		
13	老年医学1			講義	非常勤講師		
14	老年医学2			講義	非常勤講師		
15	皮膚疾患			講義	非常勤講師		
16	まとめ			講義・試験			
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準理学療法学作業療法学分野 内科学				医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
病気がみえる 7 脳・神経				MEDIC MEDIA			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							



授業科目名	整形外科学						
担当者	翁長 正道/ 金城 英雄/ 金城 政樹/ 金城 忠克/ 山川 慶/ 上原 史成/ 神谷 武志/ 石原 昌人/ 大城 裕理						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	46	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)基礎から臨床まで幅広く整形外科を学ぶ。							
(到達目標)運動器の構造を学ぶ。 運動器疾患の臨床を理解する。 得た知識をリハビリに活用できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	整形外科とは(歴史、診断、治療)				当真 孝		
2	運動器疾患の診断法				非常勤講師		
3	運動器の構造 (骨、軟骨の生理・構造)				非常勤講師		
4	運動器の構造 (筋・神経・関節)				非常勤講師		
5	運動器の治療法				非常勤講師		
6	代謝性骨疾患(骨粗鬆症など)				金城 英雄		
7	運動器(骨・関節・筋)の感染症				非常勤講師		
8	関節リウマチ(類縁疾患)				東 千夏		
9	慢性関節疾患(退行性・代謝性)				翁長 正道		
10	外傷				金城 忠克		
11	スポーツ整形外科				上原 史成		
12	小児整形外科(総論)				非常勤講師		
13	運動器疾患のリハビリテーション(総論)				神谷 武志		
14	運動器疾患の理学療法				長嶺 覚子		
15	中間まとめ						
16	肩・上腕・肘				金城 忠克		
17	前腕・手関節・手				仲宗根 素子		
18	股関節				仲宗根 哲		
19	膝関節				比嘉 浩太郎		
20	足関節・足				東 千夏		
21	末梢神経				金城 政樹		
22	頸胸椎				山川 慶		
23	腰椎				島袋 孝尚		
24	脊髄損傷				山川 慶		
25	小児整形外科(各論・変形矯正)				神谷 武志		
26	運動器疾患のリハビリテーション(各論)				非常勤講師		
27	外傷(上肢・小児の骨折)				非常勤講師		
28	外傷(夏至・高齢者の骨折)				石原 昌人		
29	骨軟部腫瘍(各論)				大城 裕理		
30	期末まとめ						
期末試験(50)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(中間試験)(50)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
病気が見える Vol.11 運動器・整形外科 MEDIC MEDIA							
書名		著者		出版社			
参考書							

書名	著者	出版社
書名	著者	出版社
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）		

授業科目名	臨床心理学								
担当者	大城 貞則								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1		
授業の概要・到達目標									
(概要)臨床心理学の主要領域である「病理」・「心理査定」・「心理療法」を概観する。心の側面から人間を理解し、適応上の問題を解決する技法を学ぶ。									
(到達目標) 臨床心理学の基礎理論を理解する 臨床心理学における主要な診断方法を理解する 臨床心理学における主要な治療方法とその枠組みを理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
毎回、講義の前または後にまとめを兼ねた小テストを実施する。									
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者				
1	臨床心理学とは?			講義	大城 貞則				
2	臨床心理学の基礎理論 人格理論			講義	大城 貞則				
3	臨床心理学の基礎理論 適応の理論			講義	大城 貞則				
4	心理臨床的諸問題・異常心理			講義	大城 貞則				
5	臨床心理査定(アセスメント) 面接法・観察法			講義	大城 貞則				
6	臨床心理査定(アセスメント) 検査法			講義	大城 貞則				
7	臨床心理査定(アセスメント) 検査法			講義	大城 貞則				
8	臨床心理査定(心理療法) 精神分析療法			講義	大城 貞則				
9	臨床心理査定(心理療法) 行動療法・認知療法			講義	大城 貞則				
10	臨床心理査定(心理療法) クライアント中心療法			講義	大城 貞則				
11	臨床心理査定(心理療法) カウンセリングの基礎			講義	大城 貞則				
12	臨床心理査定(心理療法) 遊戯療法			講義	大城 貞則				
13	臨床心理査定(心理療法) 家族療法・集団療法			講義	大城 貞則				
14	臨床心理査定(心理療法) 芸術療法			講義	大城 貞則				
15	まとめ・試験			まとめ・試験	大城 貞則				
期末試験(70)%				提出物()%		小テスト(30)%		実技試験()%	
口頭試問()%				発表()%		その他()()%			
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
生きる力を育てる臨床心理学			小林芳郎 編著			教育情報出版			
書名			著者			出版社			
参考書									
書名			著者			出版社			
書名			著者			出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
講義ごとにポイントをまとめ小テストに臨むこと									

授業科目名	リハビリテーション概論						
担当者	久高 将臣/ 専任教員/ 非常勤講師						
開講年次	1年	開講期	1年前期,1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)リハビリテーションの概念とそれらを具体化する医学的リハビリテーションの概要について、「全人的」視点からリハビリテーション専門職として求められる姿とともに明らかにする。							
(到達目標)1)リハビリテーションの概念と構成について理解するための基礎知識を学ぶ。2)医学的リハビリテーションについて理解し、チーム医療としてのリハ専門職の責任と役割を説明できる。3)我が国における医療・保健・福祉の各分野におけるリハビリテーションとのかわりについて大まかに説明することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	リハビリテーションとは、その理念と哲学、医療・保健・福祉(A・1・2)			講義	久高 将臣		
2	リハ・マインド、廃用症候群(A3・4)			講義	久高 将臣		
3	回復期(A5)			講義	久高 将臣		
4	生活期、ICIDH・ICF(A6・7)			講義	久高 将臣		
5	チーム医療としてのリハビリテーション(A8・9・10・12・13)			講義	久高 将臣		
6	チーム医療としてのリハビリテーション(言語聴覚士)			講義	専任教員		
7	チーム医療としてのリハビリテーション(介護福祉士)			講義	専任教員		
8	チーム医療としてのリハビリテーション(MSW)			講義	非常勤講師		
9	チーム医療・医学的リハビリテーションの展開			講義	久高 将臣		
10	評価(A14・15・16)			講義	久高 将臣		
11	歩行・装具(A17・18)			講義	久高 将臣		
12	義足・車椅子・リハビリテーションロボティクス(A19・20・21)			講義	久高 将臣		
13	医療・社会と法律(A22)			講義	久高 将臣		
14	地域リハビリテーションと地域包括ケアシステム(A23)			講義	久高 将臣		
15	まとめ				久高 将臣		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
リハビリテーション総論				診断と治療社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	リハビリテーション概論						
担当者	非常勤講師						
開講年次	3年	開講期	3年前期,3年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 障害者や高齢者における自立生活について、まず自立の意義から学修を進め、それを支援する意義や方法、制度について理解を深める。自立支援には対象者と対象者を取り巻く環境を吟味することが求められるため、様々な職種立場から自立生活支援に関わる技術・手法を学ぶことにより、包括的に自立支援を考えていく。							
(到達目標) “自立生活”の意義を考え、理解できる “自立生活”を支える制度が理解できる “自立生活”を支援することを実際に考えることができる							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
ほかの学生の学習機会を損なう行為（主に私語）を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
	国際支援における理学療法士の役割					非常勤講師	
	国際支援の実際					非常勤講師	
	災害時における活動支援の概要					非常勤講師	
	災害時の理学療法士の役割					非常勤講師	
	地域包括ケアシステムとは					非常勤講師	
	地域包括ケアシステムにおける街づくりでの理学療法士の役割					非常勤講師	
	自立とは ～自立と自律～					非常勤講師	
	自立とは ～ノーマライゼーションの理念～					非常勤講師	
	自立生活支援について					非常勤講師	
	就労支援とは 障がい者雇用・就労の動向					非常勤講師	
	労働施策の概要と労働法規の概要					非常勤講師	
	就労支援制度・サービスの概要 就労支援に係る専門職の役割					非常勤講師	
	障害者スポーツ支援の概要					非常勤講師	
	障害者スポーツ支援における理学療法士の役割					非常勤講師	
	まとめ					非常勤講師	
期末試験 (100) % 提出物 () % 小テスト () % 実技試験 () % 口頭試問 () % 発表 () % その他 () () %							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							

授業科目名	リハビリテーション医学						
担当者	渡名喜 良明						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)疾患とそのリハビリテーションにつき、基本的な事項と概要の理解をすすめる。							
(到達目標)疾患とそのリハビリテーションの概要が理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	脳卒中			講義	渡名喜 良明		
	脳卒中			講義	渡名喜 良明		
	脳卒中			講義	渡名喜 良明		
	脳卒中			講義	渡名喜 良明		
	外傷性脳損傷			講義	渡名喜 良明		
	パーキンソン症候群			講義	渡名喜 良明		
	多発性硬化症・神経・筋疾患			講義	渡名喜 良明		
	脊髄損傷			講義	渡名喜 良明		
	四肢切断			講義	渡名喜 良明		
	運動器・関節リウマチ			講義	渡名喜 良明		
	慢性疼痛脳性麻痺			講義	渡名喜 良明		
	心筋梗塞			講義	渡名喜 良明		
	呼吸器			講義	渡名喜 良明		
	生活習慣病			講義	渡名喜 良明		
	まとめ・試験			講義・試験	渡名喜 良明		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
リハビリテーション総論				診断と治療社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教科書中心に講義します。							

授業科目名	社会福祉学						
担当者	宮城 美智子						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)この講義は、人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法について学ぶことを目的とする。また、保健医療と福祉の連携についてもふれる。							
(到達目標) 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。福祉政策の課題について理解する。 福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む)について理解する。 福祉政策と関連政策(教育政策・住宅政策・労働政策を含む)の関係について理解する。 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
私語はつつむこと。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション			講義	宮城 美智子		
2	1現代社会における福祉制度と福祉政策			講義	宮城 美智子		
3	1現代社会における福祉制度と福祉政策			講義	宮城 美智子		
4	2福祉の原理をめぐる理論と哲学			講義	宮城 美智子		
5	3福祉制度の発達過程			講義	宮城 美智子		
6	3福祉制度の発達過程			講義	宮城 美智子		
7	4福祉政策におけるニーズと資源			講義	宮城 美智子		
8	5福祉政策の課題			講義	宮城 美智子		
9	5福祉政策の課題			講義	宮城 美智子		
10	6福祉政策の構成要素			講義	宮城 美智子		
11	6福祉政策の構成要素			講義	宮城 美智子		
12	6福祉政策の構成要素			講義	宮城 美智子		
13	7福祉政策と関連政策			講義	宮城 美智子		
14	8相談援助活動と福祉政策			講義	宮城 美智子		
15	まとめ・試験			講義・試験	宮城 美智子		
期末試験(60)% 提出物(20)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表(20)% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
新・社会福祉養成講座 4				中央法規			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
医療や福祉サービスを必要とする方がたの良き理解者となることを目指して、真摯な姿勢で学んでほしい。							

授業科目名	理学療法概論						
担当者	砂川 昌信						
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 理学療法を学ぶに当たり、基本的な態度と知識を身につける。そのため理学療法の歴史、関係法則、障害モデルなどを包括的に俯瞰する。							
(到達目標) リハビリテーションにおける理学療法士の位置づけを説明できる。 理学療法について理解を深め、今後修得が必要な専門知識の概要を理解する。 理学療法士を目指す学生に必要な能動的学習姿勢を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ほかの学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション			講義	砂川 昌信		
2	目指す理学療法士像と実現のための方策(グループ討議)			講義	砂川 昌信		
3	目指す理学療法士像と実現のための方策(グループ発表)			講義	砂川 昌信		
4	理学療法の概念と歴史			講義	砂川 昌信		
5	理学療法士の法律			講義	砂川 昌信		
6	理学療法士の関連法規			講義	砂川 昌信		
7	理学療法の意義と役割			講義	砂川 昌信		
8	理学療法の対象			講義	砂川 昌信		
9	理学療法の方法(運動療法)			講義	砂川 昌信		
10	理学療法の方法(物理療法)			講義	砂川 昌信		
11	理学療法士の組織と理学療法士教育			講義	砂川 昌信		
12	個人情報の管理と対象者の権利			講義	砂川 昌信		
13	臨床教育の実践			講義	砂川 昌信		
14	理学療法士と研究			講義	砂川 昌信		
15	まとめ			講義	砂川 昌信		
期末試験(90)% 提出物(10)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
理学療法概論		千住秀明		神菱文庫			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
リハビリテーション総論 要点と用語解説 改訂第2版		椿原彰夫		診断と治療社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
分からないこと、疑問に思ったことなどは講義名および講義終了後でも構わないので質問すること。							

授業科目名	理学療法概論						
担当者	石田 隆志						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
<p>(概要) 理学療法に共通する機能障害の病態やそのメカニズムについて学びます。 本講義は提示された問題に対して、学習者が主体的に調査学習し、発表をするProblem Based Learning(以下PBL)を取り入れた形式で教授されます。</p> <p>(到達目標) 1.機能障害の病態やそのメカニズムを教科書や文献を用いて調べることができる。 2.機能障害の病態やそのメカニズムについて調べた内容を要約し、文書にまとめることができる。 3.機能障害の病態やそのメカニズムについて調べた内容を発表できる。</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
本講義は学生が主体的に学ぶPBLに準じた形式で行われます。みなさん積極的に学びその成果を発表するようにして下さい。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	関節可動域制限の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
2	筋力低下の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
3	1、2について発表			講義	石田 隆志		
4	創傷、靭帯損傷の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
5	骨損傷(骨折、疲労骨折など)の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
6	4、5について発表			講義	石田 隆志		
7	運動麻痺の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
8	感覚異常の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
9	7、8について発表			講義	石田 隆志		
10	筋緊張異常の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
11	平衡機能低下の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
12	10、11について発表			講義	石田 隆志		
13	疼痛の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
14	認知機能低下の病態とそのメカニズム			講義	石田 隆志		
15	13、14について発表			講義	石田 隆志		
期末試験(30)% 提出物(30)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表(40)% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
本講義を通して、調べ方、学びなどを身に付けていきましょう。							

授業科目名	臨床運動学						
担当者	毛利 光宏						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)動作分析の基本として力学的に重心位置と動作の関係を理解し、観察のためのポイントを習得し、説明できるようにする。							
(到達目標)支持基底面と重心の高さの関係を理解する。 基本動作と重心の関係を理解する。 基本動作の観察のポイントを理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	概要説明および静止物と回転運動について			講義	毛利 光宏		
2	動作時の基本:固定と可動について			講義	毛利 光宏		
3	剛体と分節運動			講義	毛利 光宏		
4	カウンターウエイト、重心移動			講義	毛利 光宏		
5	臥位姿勢での中枢部と末梢部			講義	毛利 光宏		
6	寝返り動作の相分けと観察ポイント			講義・演習	毛利 光宏		
7	寝返り動作の確認と操作			講義・演習	毛利 光宏		
8	立ち上がり動作の相分けと観察ポイント			講義・演習	毛利 光宏		
9	立ち上がり動作の重心移動分析 (計測)			講義・演習	毛利 光宏		
10	立ち上がり動作の重心移動分析 (データ処理)			講義・演習	毛利 光宏		
11	演習発表とディスカッション			演習	毛利 光宏		
12	歩行運動の重心移動分析 (計測)			講義・演習	毛利 光宏		
13	歩行運動の重心移動分析 (データ処理)			講義・演習	毛利 光宏		
14	演習発表とディスカッション			演習	毛利 光宏		
15	まとめ			講義・試験	毛利 光宏		
期末試験(50)% 提出物(20)% 小テスト(30)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
誰でもわかる動作分析		小島正義		南江堂			
書名		著者		出版社			
動作分析 臨床活用講座		石井慎一郎		メディカルビュー			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	理学療法特論						
担当者	専任教員/非常勤講師						
開講年次	3年	開講期	3年前期,3年後期	授業回数	120	単位数	4
授業の概要・到達目標							
(概要)理学療法教育基礎、専門基礎および理学療法専門の知識の整理を行う。							
(到達目標)基礎分野の各個人の不得意分野を確認し取り組むことができる。 専門分野の各個人の不得意分野を確認し取り組むことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1・2	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
3・4	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
5・6	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
7・8	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
9・10	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
11・12	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
13・14	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
15・16	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
17・18	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
19・20	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
21・22	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
23・24	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
25・26	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
27・28	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
29・30	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
31・32	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
33・34	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
35・36	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
37・38	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
39・40	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
41・42	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
43・44	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
45・46	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
47・48	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
49・50	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
51・52	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
53・54	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
55・56	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
57・58	知識のまとめ(学内模試・業者模試・分野別特異別講義・グループ学習)				専任教員/非常勤講師		
59・60	まとめ				専任教員		
期末試験(60)% 提出物(40)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							

書名	著者	出版社
書名	著者	出版社
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）		

授業科目名	理学療法管理学						
担当者	青野 健治						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について学ぶ。また、臨床の現場で理学療法士に求められる高い倫理観や生涯学習の必要性について学習する。							
(到達目標) 理学療法教育の概要について説明できる。 コンプライアンス・法令違反について説明できる。 診療報酬について説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ほかの学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション(授業の概要と求める態度)			講義	青野 健治		
2	管理とは			講義	青野 健治		
3	自己管理			講義	青野 健治		
4	組織の管理			講義	青野 健治		
5	目標の設定と時間管理			講義	青野 健治		
6	理学療法士養成教育(歴史・内容)			講義	青野 健治		
7	診療参加型臨床実習について			講義	青野 健治		
8	臨床実習前後の評価(OSCE等)について			講義	青野 健治		
9	理学療法士国家試験の出題基準			講義	青野 健治		
10	生涯学習制度について			講義	青野 健治		
11	職業倫理(コンプライアンス・法令違反)			講義	青野 健治		
12	職業倫理(守秘義務、個人情報保護)			講義	青野 健治		
13	理学療法の実施とその対価(医療保険制度と診療報酬)			講義	青野 健治		
14	理学療法の実施とその対価(介護保険制度と介護報酬)			講義	青野 健治		
15	まとめ			講義	青野 健治		
期末試験(60)% 提出物(20)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(グループ内評価)(20)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	理学療法管理学						
担当者	久高 将臣						
開講年次	3年	開講期	3年前期,3年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
<p>(概要)理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本について学ぶ。理学療法士として、職業倫理やチーム医療における理学療法士の役割について理解するとともに、病院・施設の組織および記録・報告、臨床におけるリスク管理、の理学療法部門の管理運営について学習する。</p> <p>(到達目標)理学療法部門の管理・運営について説明できる。 医療専門職として倫理感を有し、理学療法を遂行できる。 チーム医療を認識し、その中での理学療法士の役割について説明できる。 医療事故の原因を理解し、事故の予防に努め、リスク管理ができる。</p>							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
<p>ほかの学生の学習機会を損なう行為（主に私語）を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。</p>							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション			講義	久高 将臣		
2	臨床教育の方法(メンター制,プリセプター制など)			講義	久高 将臣		
3	理学療法の実施における他職種との関わり(処方内容の確認,他職種への申し送り,カンファレンス)			講義	久高 将臣		
4	診療(記)録と記載責任、保管と記録集計			講義	久高 将臣		
5	理学療法機器の保守点検・安全管理、医療広告ガイドライン			講義	久高 将臣		
6	理学療法研究における倫理			講義	久高 将臣		
7	人事考課(職員採用・昇格審査など)			講義	久高 将臣		
8	ハラスメント、労務管理(勤務時間・休暇管理など)			講義	久高 将臣		
9	リスクマネジメント-ハインリッヒの法則、医療事故、医療過誤、ヒヤリ・ハット(インシデント)			講義	久高 将臣		
10	ストレスの対処法、体調管理			講義	久高 将臣		
11	対象者・他職種との利害衝突ならびにコンフリクトマネジメント			講義	久高 将臣		
12	理学療法士と起業(起業に必要な知識、具体的な起業方法)			講義	久高 将臣		
13	理学療法士とキャリアデザイン1-自己分析と適正			講義	久高 将臣		
14	理学療法士とキャリアデザイン2-自分のキャリアをデザインする			講義	久高 将臣		
15	まとめ			講義	久高 将臣		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	理学療法評価学						
担当者	佐久田 衛						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 疾病や障害から生ずる機能障害を把握するために理学療法士が実施する種々の検査測定技術を習得し、その結果の解釈について学ぶ							
(到達目標) 機能形態測定(四肢長、周径など)が実施できる 関節可動域の程度と関連要因を把握する評価が実施できる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
実技が主になる講義なので動きやすい格好または適切な露出ができるよう準備をすること。 爪切りや髪を結ぶなど衛生管理をするようにしてください。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	姿勢と機能形態			講義・実技	佐久田 衛		
2~5	形態測定(身長、体重、四肢長、四肢周径)			実技	佐久田 衛		
6	形態測定(結果から解釈)			実技	佐久田 衛		
7	形態測定まとめ			講義・実技	佐久田 衛		
8	関節可動域総論			講義・実技	佐久田 衛		
9	関節可動域測定(肩甲帯・肩関節)			実技	佐久田 衛		
10	関節可動域測定(肘・手関節)			実技	佐久田 衛		
11	関節可動域測定(股関節)			実技	佐久田 衛		
12	関節可動域測定(膝・足関節)			実技	佐久田 衛		
13	関節可動域測定(頸部)			実技	佐久田 衛		
14	関節可動域測定(胸腰部)			実技	佐久田 衛		
15	関節可動域測定まとめ			講義・実技	佐久田 衛		
期末試験(50)% 提出物(10)% 小テスト()% 実技試験(40)% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者		出版社			
理学療法評価学	改訂第6版	松澤正・江口勝彦		金原出版株式会社			
	書名	著者		出版社			
参考書							
	書名	著者		出版社			
臨床での測定精度を高める！ROM測定法		斎藤慶一郎		株式会社メジカルビュー社			
	書名	著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
理学療法の業務の基礎となる技術です。繰り返し練習して修得しましょう。							

授業科目名	理学療法評価学						
担当者	石田 隆志						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)徒手筋力検査法(MMT)としてもっとも普及しているダニエルの徒手筋力検査法を学ぶ。検査主義をビデオおよび実技指導で学んだ後に、学生同士でそれぞれ検査者、被験者役を決め、実践練習する。							
(到達目標)1. MMTの意義と適応および検査方法を理解できる。 2. 筋力低下症状に対してMMT検査法を選択する考え方を身に付ける。 3. MMT検査を実施できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 講義は毎回、検査手技の練習があるためジャージ等動きやすい服装で参加すること。 2. 講義前後には学習したMMT検査の予習復習として実技練習を行うこと。 3. 国家試験問題を学習しMMT検査に対する知識を向上させること。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	徒手筋力検査の概念と考え方、段階付けの定義			講義・実技	石田 隆志		
2	上肢1 肘関節			講義・実技	石田 隆志		
3	上肢2 肩甲上腕関節			講義・実技	石田 隆志		
4	上肢3 健康胸郭関節			講義・実技	石田 隆志		
5	上肢4 前腕			講義・実技	石田 隆志		
6	上肢5 手関節			講義・実技	石田 隆志		
7	上肢まとめ			講義・実技	石田 隆志		
8	体幹・骨盤1			講義・実技	石田 隆志		
9	体幹・骨盤2			講義・実技	石田 隆志		
10	下肢1 股関節i			講義・実技	石田 隆志		
11	下肢2 股関節ii			講義・実技	石田 隆志		
12	下肢3 膝関節			講義・実技	石田 隆志		
13	下肢4 足関節			講義・実技	石田 隆志		
14	下肢まとめ			講義・実技	石田 隆志		
15	上肢・下肢・体幹まとめ			講義・実技	石田 隆志		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
新・徒手筋力検査法 第9班		Helen J. Hislop		協同医書出版			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

教員からのメッセージ 正確なMMT検査を実施実施するためには、繰り返し練習する必要があります。

1. 講義資料のMMT検査早見表を参照して基本的手技を暗記しましょう
2. 自分の身体で検査運動を練習しましょう
3. 友人に被験者になって頂いて検査手技を練習しましょう

講義前に前回講義で学習した検査を確認しますので、各自復習を行うようにして下さい。反復して練習すれば着実にMMT検査技術は向上します、自らの成長を感じ楽しみながら学習していきましょう。

授業科目名	理学療法評価学						
担当者	山城 美咲						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)本講義はリハビリテーションの対象となることの多い整形外科疾患について、主に評価方法の理解と徒手検査の実践を行う。具体的には、上肢・脊椎・下肢の疾患により生じる運動器障害に対する検査法の抽出と実施(実技)について、講義と演習を組み合わせながら行っていい。							
(到達目標)1.整形外科疾患の病態に対する理解を深め、適切な検査法が抽出できる 2.選択した検査について説明ができる 3.学んだ検査が実施できる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
受講にあたり機能解剖学や運動生理学、整形外科学など予習・復習を行ってください。また、実技が行いやすい服を準備するようにしてください。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション、組織の修復、RICE処置			講義・実技	山城 美咲		
2	疼痛の評価について			講義・実技	山城 美咲		
3	肩関節疾患(肩峰下インピンジメント、腱断裂)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
4	肩関節疾患(神経障害)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
5	肘関節疾患(靭帯損傷、神経障害他)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
6	頭頸部疾患に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
7	胸椎・胸郭の運動器障害に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
8	腰椎疾患に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
9	股関節の障害(可動域制限)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
10	股関節障害(安定性・協調性)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
11	股関節の障害(疼痛中心)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
12	膝関節疾患(変形性膝関節症)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
13	膝関節疾患(靭帯損傷、半月板損傷)に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
14	足関節疾患に対する徒手検査法			講義・実技	山城 美咲		
15	姿勢観察・評価			講義・実技	山城 美咲		
期末試験()% 提出物(10)% 小テスト(60)% 実技試験(30)% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
局所と全身からアプローチする運動器の運動療法 第1版		小柳 磨毅、中江 徳彦、井上 悟		羊土社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
運動器疾患の機能解剖学に基づく評価と解釈(上肢編)		林 典雄 監修		運動と医学の出版社			
書名		著者		出版社			
運動器疾患の機能解剖学に基づく評価と解釈(下肢編)		林 典雄 監修		運動と医学の出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・講義の前に解剖学、運動学の復習をしてください(60分程度)							

授業科目名	理学療法評価学						
担当者	石田 隆志						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)小脳疾患、パーキンソン病の病態を理解し、適切な検査を実施できるようにする。							
(到達目標)1.小脳疾患、パーキンソン病の病態を理解する。 2.小脳疾患、パーキンソン病の症状に対して検査を選択して、実施できるようになる。 3.症例に対する適切なパフォーマンス評価を選択し、実施できるようになる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
指定映像教材で予習してから受講すること。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)		担当者	
1	小脳疾患の病態と脳画像			講義・実技		石田 隆志	
2	小脳疾患の症状			講義・実技		石田 隆志	
3	小脳疾患の検査1			講義・実技		石田 隆志	
4	小脳疾患の検査2			講義・実技		石田 隆志	
5	Scale for the assessment and rating of ataxia (SARA)			講義・実技		石田 隆志	
6	パーキンソン病の病態と脳画像			講義・実技		石田 隆志	
7	パーキンソン病の症状			講義・実技		石田 隆志	
8	パーキンソン病の検査1			講義・実技		石田 隆志	
9	パーキンソン病の検査2			講義・実技		石田 隆志	
10	Unified Parkinson's Disease Rating Scale (UPDRS)1			講義・実技		石田 隆志	
11	Unified Parkinson's Disease Rating Scale (UPDRS)2			講義・実技		石田 隆志	
12	パフォーマンス評価1			講義・実技		石田 隆志	
13	パフォーマンス評価2			講義・実技		石田 隆志	
14	パフォーマンス評価3			講義・実技		石田 隆志	
15	小脳、パーキンソン病検査まとめ			講義・実技		石田 隆志	
期末試験(70)% 提出物(30)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
ベッドサイドの神経の診かた		田崎義明 南山堂					
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
よくわかる理学療法の検査・測定・評価		齋藤昭彦 秀和システム					
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
ほとんどの方はまだ小脳疾患、パーキンソン病の症状を実際に見たことは無いとおもいます。 このため、本講義では映像教材、参考書を用いて小脳のイメージをつかんでもらってから、症状に対する検査手技を学習します。 みなさんにとってあまり馴染みのない疾患かもしれませんが、臨床では片麻痺の次に多く接する疾患です。 中枢疾患を発症して困っている患者様の力になれるよう、知識と検査技術を身に付けていきましょう。 併せてすべての疾患に共通するパフォーマンス評価の検査手技も学習します。							

授業科目名	理学療法評価学						
担当者	青野 健治						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)呼吸器疾患、循環器疾患の病態と障害に対する評価法について実技を交え学習する。							
(到達目標)呼吸器、循環器の解剖と生理について理解する。 代表的な呼吸循環疾患の病態とその評価法について理解し、実施することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ほかの学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	オリエンテーション、呼吸器系の解剖				講義	青野 健治	
2	体表解剖(含実技)				講義・実技	青野 健治	
3	呼吸器系の生理				講義	青野 健治	
4	血液ガスと酸塩基平衡				講義	青野 健治	
5	肺機能				講義	青野 健治	
6	フィジカルアセスメント・視診・触診(含実技)				講義・実技	青野 健治	
7	フィジカルアセスメント・打診・聴診(含実技)				講義・実技	青野 健治	
8	呼吸理学療法評価(呼吸困難、運動耐用量、ADL、QOL)				講義	青野 健治	
9	画像所見				講義	青野 健治	
10	循環器系の解剖と生理				講義	青野 健治	
11	心電図				講義	青野 健治	
12	心電図(実技)				講義・実技	青野 健治	
13	脈拍・血圧測定(含実技)				講義・実技	青野 健治	
14	循環器の評価				講義	青野 健治	
15	まとめ				講義	青野 健治	
期末試験(60)%		提出物()%		小テスト(40)%		実技試験()%	
口頭試問()%		発表()%		その他()		()%	
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準理学療法学 内部障害理学療法学		奈良 勲		医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
単元終了ごとに小テストを行うので、復習を欠かさず行うこと。							

授業科目名	理学療法基礎治療学						
担当者	山城 美咲						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 基礎治療学 では、理学療法の主要な治療手段である運動療法の基礎を学ぶ。総論として運動療法の定義や歴史、運動の手段や方法などを学習する。また、解剖学・生理学・運動学の知識をもとに運動が体に及ぼす影響を理解し、運動療法の効果について検証できるようになることを目的とする。							
(到達目標) 1. 運動療法の概念が説明できる 2. 運動療法の開始基準や禁忌事項、患者の権利などを理解し、安全な運動療法を提供することの重要性を知る 3. 運動が体に及ぼす影響について、基礎知識をもとに説明ができる							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
・小テストとレスポンスシートにて到達目標や講義の理解度を確認する ・講義で配布する資料や文章などをインターネット上に公開することを禁止する							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	運動療法の定義、対象			講義	山城 美咲		
2	運動療法の目的、歴史、今後の展望			講義	山城 美咲		
3	運動の手段と方法、運動の分類、運動療法の特性			講義	山城 美咲		
4	運動療法の禁忌、インフォームドコンセント			講義	山城 美咲		
5	運動療法の必要性と効果			講義	山城 美咲		
6	二次的障害とその予防			講義	山城 美咲		
7	運動療法の順序			講義	山城 美咲		
8	運動と呼吸			講義	山城 美咲		
9	運動と循環			講義	山城 美咲		
10	姿勢変化と生体反応			講義・実技	山城 美咲		
11	運動と代謝			講義	山城 美咲		
12	体力とは			講義	山城 美咲		
13	疼痛のメカニズムと運動療法			講義	山城 美咲		
14	ストレスと生体反応、リラクゼーション訓練			講義・実技	山城 美咲		
15	器具・機械の使用法			講義・実技	山城 美咲		
期末試験 () % 提出物 (30) % 小テスト (70) % 実技試験 () % 口頭試問 () % 発表 () % その他 () () %							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
シンプル理学療法シリーズ 運動療法学テキスト 第3版		細田 多穂 監修		南江堂			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版		市橋 則明 編集		文光堂			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
・教科書以外にも補足資料を配布することがあります ・講義の理解を深めるためにも予習をしておいてください(60分程度) ・講義では解剖学・生理学・運動学で学んだ知識も必要になりますので、関連付けて理解できるようにしてください							

授業科目名	理学療法基礎治療学						
担当者	山城 美咲						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)本講義では、理学療法の重要な部分を占める運動療法の基礎を学ぶ。特に、障害別の講義に入る前段階として位置づけ、基本的な運動療法を関節・筋・神経系に分け、各組織の障害と障害別の運動療法について、実技を交えながら学習する。							
(到達目標)1.各組織の病態生理を理解し、障害別に対する運動療法の目的・注意点・方法が説明できる 2.各組織の障害に適した運動療法を選択し、リスク管理を含め正しく実践できる 3.ケーススタディをとおして、学んだ知識・技術が身についたか確認することができる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・実技の際には動きやすい恰好かつ衛生管理に努める(爪は切る、髪は結ぶなど)不衛生もしくは危険と判断した場合には、その場で改善を求めることもある。 ・提出物の内容やケーススタディで講義に対する理解度を確認する。またグループワークへの貢献度や積極的参加度合いも評定授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	関節の機能と障害			講義	山城 美咲		
2	関節の機能と障害			講義	山城 美咲		
3	関節可動域訓練			講義・実技	山城 美咲		
4	関節モビライゼーション			講義・実技	山城 美咲		
5	ストレッチング			講義・実技	山城 美咲		
6	ケーススタディ			グループワーク	山城 美咲		
7	筋の機能と障害			講義	山城 美咲		
8	筋の機能と障害			講義	山城 美咲		
9	筋力増強訓練			講義・実技	山城 美咲		
10	筋持久力訓練			講義・実技	山城 美咲		
11	ケーススタディ			グループワーク	山城 美咲		
12	神経系の機能と障害			講義	山城 美咲		
13	神経系の機能と障害			講義	山城 美咲		
14	運動学習について			講義	山城 美咲		
15	協調性訓練			講義・実技	山城 美咲		
期末試験(80)% 提出物(10)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表(5)% その他(グループワーク)(5)%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
シンプル理学療法学シリーズ 運動療法学テキスト 第3版		細田 多穂 監修		南江堂			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版		市橋 則明 編集		文光堂			
書名		著者		出版社			
理学療法NAVI 臨床思考が身につく運動療法Q&A		高橋 哲也 編集		医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・教科書以外にも補足資料を配布することがあります ・運動療法学は、理学療法士にとって最も基本となる治療手技であり、その技術習得には原則原理の理解が必要です。講義の理解を深めるためにも予習をしておいてください(60分程度)							

授業科目名	骨関節障害理学療法学						
担当者	平良 進						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)骨関節障害(主に股関節、膝関節、足関節)に対する理学療法の基本的な考え方、ADL指導法について学びます。それに加え、基本的な実技の習得、国家試験で求められる知識の理解に努める。							
(到達目標)代表的な骨関節障害(主に股関節、膝関節、足関節)の基本的な考え方について理解できる。 基本的な実技とADL(主に股関節、膝関節、足関節)について理解できる。 国家試験で求められる知識(主に股関節、膝関節、足関節)について理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
小テストを実施し、前回講義の確認を行う。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)		担当者	
	総論 (骨関節障害とは、それに伴う検査・測定・理学療法)			講義		平良 進	
	股関節 (股関節の機能解剖)			講義・実技		平良 進	
	股関節 (変股症・大腿骨頸部骨折などの術前後の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	股関節 (変股症・大腿骨頸部骨折などの術前後の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	股関節 (変股症・大腿骨頸部骨折などのADL指導)			講義・実技		平良 進	
	膝関節 (膝関節の機能解剖)			講義・実技		平良 進	
	膝関節 (変形性膝関節症などの術前後の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	膝関節 (変形性膝関節症などのADL指導)			講義・実技		平良 進	
	膝関節 (靭帯損傷、半月版損傷などの術前後の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	膝関節 (靭帯損傷、半月版損傷などのスポーツ復帰の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	膝関節 (靭帯損傷、半月版損傷などのスポーツ復帰の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	足関節 (足関節の機能解剖)			講義・実技		平良 進	
	足関節 (足関節捻挫、足底筋膜炎、アキレス腱断裂などの術前後の運動療法)			講義・実技		平良 進	
	足関節 (足関節捻挫、足底筋膜炎、アキレス腱断裂などのADL指導)			講義・実技		平良 進	
	まとめ			試験		平良 進	
期末試験 (50) % 提出物 () % 小テスト (50) % 実技試験 () % 口頭試問 () % 発表 () % その他 (提出物は必要時に実施する。) (0) %							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準整形外科学		仲村利孝・松野丈夫		医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	骨関節障害理学療法学						
担当者	平良 進						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)骨関節障害(主に脊柱、胸郭、上肢)に対する理学療法の基本的な考え方、ADL指導法について学びます。それに加え、基本的な実技の習得、国家試験で求められる知識の理解に努める。							
(到達目標)代表的な骨関節障害(主に脊柱、胸郭、上肢)の基本的な考え方について理解できる。 基本的な実技とADL(主に脊柱、胸郭、上肢)について理解できる。 国家試験で求められる知識(主に脊柱、胸郭、上肢)について理解できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
小テストを実施し、前回講義の確認を行う。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
	脊柱 (脊柱の機能解剖)				講義	平良 進	
	脊柱 (頸椎ヘルニア、脊柱側弯症などの術前後の運動療法)				講義・実技	平良 進	
	脊柱 (腰痛、腰椎椎間板ヘルニア、関節リュウマチなどの術前後の運動療法)				講義・実技	平良 進	
	脊柱 (腰痛、腰椎椎間板ヘルニア、関節リュウマチなどのADL指導)				講義・実技	平良 進	
	脊柱 (脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折などの術前後の運動療法)				講義・実技	平良 進	
	脊柱 (脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折などのADL指導)				講義・実技	平良 進	
	胸郭 (胸郭の機能解剖)				講義・実技	平良 進	
	胸郭 (胸郭出口症候群などの術前後の運動療法)				講義・実技	平良 進	
	胸郭 (胸郭出口症候群などの術前後のADL指導)				講義・実技	平良 進	
	上肢 (上肢の機能解剖)				講義・実技	平良 進	
	上肢 (肩関節周囲炎などの運動療法とADL指導)				講義・実技	平良 進	
	上肢 (インピンジメント症候群、腱板損傷などの術前後の運動療法)				講義・実技	平良 進	
	上肢 (インピンジメント症候群、腱板損傷などのADL指導)				講義・実技	平良 進	
	上肢 (上肢スポーツ外傷などの術前後の運動療法)				講義・実技	平良 進	
	まとめ				試験	平良 進	
期末試験(50)% 提出物()% 小テスト(50)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他(提出物は必要時に実施する。)(0)% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準整形外科学		仲村利孝・松野丈夫		医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	神経障害理学療法学						
担当者	砂川 昌信						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)脳機能局在を理解し脳血管障害後片麻痺の特徴を把握する。また脳血管障害に対する各種検査の意義・目的を把握する。							
(到達目標)運動と感覚の脳機能局在を説明できる。 脳血管障害後片麻痺の障害像について説明できる。 脳血管障害後片麻痺の運動機能について理解し、検査法および評価法を説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
提出物は提出日が定められた課題の他、毎講義後のレスポンスシートを含むものとする。 講義およびグループ活動に対し、積極的な参加を求める。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	大脳の構造と機能				講義	砂川 昌信	
2	神経回路(運動路・感覚路)				講義	砂川 昌信	
3	神経回路(運動路・感覚路)				講義	砂川 昌信	
4	脳卒中の病型と重症度				講義	砂川 昌信	
5	脳卒中の画像のみかた				講義	砂川 昌信	
6	症状・姿勢の特徴(臥位・座位・立位)				実技	砂川 昌信	
7	症状・姿勢の特徴(臥位・座位・立位)				実技	砂川 昌信	
8	片麻痺機能検査(Brunnstrom test)・深部腱反射・筋緊張検査・感覚検査				実技	砂川 昌信	
9	片麻痺機能検査(Brunnstrom test)・深部腱反射・筋緊張検査・感覚検査				実技	砂川 昌信	
10	片麻痺機能検査(Brunnstrom test)・深部腱反射・筋緊張検査・感覚検査				実技	砂川 昌信	
11	脳神経検査				講義	砂川 昌信	
12	脳神経検査				講義	砂川 昌信	
13	高次脳機能障害				講義	砂川 昌信	
14	高次脳機能障害				講義	砂川 昌信	
15	まとめ				講義	砂川 昌信	
期末試験(60)% 提出物(20)% 小テスト(20)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
脳卒中最前線 第4版		福井囿彦・藤田勉・宮坂元磨		医歯薬			
書名		著者		出版社			
コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像		大村優慈		メジカルビュー			
参考書							
書名		著者		出版社			
脳卒中理学療法の理論と技術		吉尾雅春・原寛美		メジカルビュー			
書名		著者		出版社			
病気がみえる 脳・神経				メディックメディア			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
本講義では1年次に履修した解剖学(中枢神経系)の内容も含まれています。適宜その資料も参考にしながら予習復習を行ってください。検査に関しては実技を行いますので事前に服装の確認を行ってください。							

授業科目名	神経障害理学療法学						
担当者	島袋 公史						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)脳卒中片麻痺患者の機能的評価と日常生活活動(ADL)評価を結びつけ基本的な理学療法立案および運動療法を学ぶ。							
(到達目標)脳卒中片麻痺患者の動作とADLの関連を理解する。 脳卒中片麻痺患者の機能評価とADL評価の統合と解釈ができるようになる。 脳卒中片麻痺患者の問題点を挙げ、基本的な理学療法を立案および運動療法を試みることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
他の学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	脳卒中片麻痺患者の検査と評価(1)			講義・実技	島袋 公史		
2	脳卒中片麻痺患者の検査と評価(2)			講義・実技	島袋 公史		
3	脳卒中片麻痺患者の検査と評価(3)			実技	島袋 公史		
4	脳卒中片麻痺患者の検査と評価(4)			実技	島袋 公史		
5	脳卒中片麻痺患者の姿勢と動作の特性および解釈(臥位・起居動作)			実技	島袋 公史		
6	脳卒中片麻痺患者の姿勢と動作の特性および解釈(座位・立ち上がり)			実技	島袋 公史		
7	脳卒中片麻痺患者の姿勢と動作の特性および解釈(立位・歩行)			実技	島袋 公史		
8	脳卒中片麻痺患者の姿勢と動作の特性および解釈(ADL動作)			実技	島袋 公史		
9	問題点からプログラム立案まで - 疾患別 - (1)			講義・実技	島袋 公史		
10	問題点からプログラム立案まで - 疾患別 - (2)			講義・実技	島袋 公史		
11	問題点からプログラム立案まで - 疾患別 - (3)			講義・実技	島袋 公史		
12	病期におけるリハビリテーション(急性期)			講義・実技	島袋 公史		
13	病期におけるリハビリテーション(回復期)			講義・実技	島袋 公史		
14	病期におけるリハビリテーション(生活期)			講義・実技	島袋 公史		
15	まとめ			講義	島袋 公史		
期末試験(50)% 提出物(10)% 小テスト(30)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表(10)% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
脳卒中最前線		福井 園彦・藤田 勉・宮坂 元磨		医歯薬			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
コツさえわかればあなたも読める リハに役立つ脳画像		大村 優慈		メジカルビュー			
書名		著者		出版社			
病気がみえる 7 脳・神経				メディックメディア			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・前期(神経理学療法)で使用した資料も講義中に使用しますので準備してください。 ・実技も行いますので動きやすい服装をお願いします。 ・課題発表もありますのでわからないことがあれば随時担当教員へ声をかけてください。							

授業科目名	神経障害理学療法学						
担当者	溝田 康司						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 理学療法の対象となる小児期の発達と代表的疾患について学ぶ。デュシャンヌ型筋ジストロフィー症、二分脊椎、ダウン症、学習障害の基礎知識について学ぶ。また、脳性麻痺については医学的知識に加え、分類、特徴、評価、治療など系統的障害像を学ぶ。また、障がい児教育の日米比較について概要を学ぶ。							
(到達目標) 1) 運動発達を主として正常発達の流れを理解する。 2) 小児期の運動障害を主訴とする代表的疾患の特徴を理解する。 3) 狭義の発達障害について理解する。4) 脳性麻痺の全般を系統的に理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
初回に配布する講義進行表に記載された教科書の該当ページを事前学習として一読して講義に臨むこと。 講義3回目から14回目まで毎回web復習クイズを実施。各講義終了時に当日の学びの振り返りシートを記載し提出。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
	小児の理学療法の概要				講義	溝田 康司	
	0～1歳までの正常運動発達概要				講義・クイズ	溝田 康司	
	原始反射				講義・クイズ	溝田 康司	
	立ち直り反応・平衡反応				講義・クイズ	溝田 康司	
	デュシャンヌ型筋ジストロフィー症				講義・クイズ	溝田 康司	
	二分脊椎				講義・クイズ	溝田 康司	
	ダウン症・知的障害				講義・クイズ	溝田 康司	
	発達障害				講義・クイズ	溝田 康司	
	脳性麻痺の概要・知識の整理				講義・クイズ	溝田 康司	
	脳性麻痺の分類と特徴(痙直型)				講義・クイズ	溝田 康司	
	脳性麻痺の分類と特徴(アトーゼ・失調・弛緩型)				講義・クイズ	溝田 康司	
	脳性麻痺の分類と特徴及び評価(GMFCS/GMFM/ROM)/整形外科				講義・クイズ	溝田 康司	
	脳性麻痺の評価/整形外科/自助具・補助具・装具				講義・クイズ	溝田 康司	
	障害児教育/まとめ				講義・クイズ	溝田 康司	
	試験					溝田 康司	
期末試験(90)% 提出物()% 小テスト(10)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
イラストでわかる小児理学療法		上杉雅之監修		医歯薬出版			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
PT・OTのための発達障害ガイド		新田収他編		金原出版			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回の講義の進行はおおよそ下記の通り。1) Web復習クイズ(10分程度) 2) 教科書講義該当範囲の黙読(10分程度) 3) 当日分の講義概要の説明 4) 講義(50～60分程度) 5) 当日分の振り返りシート記入(10分程度) 6) 講義終了							

授業科目名	神経障害理学療法学						
担当者	石田 隆志/ 天願 博敦/ 非常勤講師						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 神経症状を呈する特殊疾患や脊髄損傷における病態および障害の理解を深め、理学療法の知識および実践を学ぶ。							
(到達目標) 神経筋疾患ならびに脊髄損傷の病態を理解する。 病態から生じる症状や問題を理解する。 症状や問題点に対する治療内容を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	パーキンソン病(症候群)の分類、症状、その他の特徴			講義	石田 隆志		
2	パーキンソン病(症候群)の評価、リスク、運動療法			講義	石田 隆志		
3	失調症の症状			講義	石田 隆志		
4	失調症の評価、リスク管理、運動療法			講義	石田 隆志		
5	筋疾患 デュシャンヌ型ジストロフィー			講義	天願 博敦		
6	筋疾患 重症筋無力症			講義	天願 博敦		
7	神経変性疾患 筋萎縮性側索硬化症(ALS)			講義	天願 博敦		
8	脱髄性疾患 多発性硬化症(MS)・ギランバレー症候群など			講義	天願 博敦		
9	脊髄損傷とは、受傷起点と障害(像)			講義	非常勤講師		
10	脊髄損傷の病態生理			講義	非常勤講師		
11	障害分類:ASIS、運動機能障害、感覚障害、自律神経障害など			講義	非常勤講師		
12	脊髄損傷の日常生活活動			講義	非常勤講師		
13	車椅子操作と松葉杖、床上動作など			講義	非常勤講師		
14	社会復帰のために必要な生活環境、リハの流れとゴール設定			講義	非常勤講師		
15	まとめ			講義・試験	天願 博敦		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	内部障害理学療法学						
担当者	青野 健治/ 島袋 尚美						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 内部障害理学療法学 では呼吸器疾患に対する理学療法の基本手技の実際について実技を交えて学ぶ。また、がんのリハビリテーションにおける理学療法士の役割や一連の流れについて講義する。							
(到達目標) 呼吸器疾患、特に間質性肺炎と慢性閉塞性肺疾患 COPD の病態について理解し、理学療法が実施できる。外科手術後、ICU 管理、人工呼吸器管理状態における理学療法について説明できる。がんのリハビリテーションにおける理学療法士の役割と理学療法の実際について説明できる。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
ほかの学生の学習機会を損なう行為（主に私語）を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション、呼吸理学療法総論(歴史、対象)			講義	青野 健治		
2	呼吸理学療法 コンディショニング(リラクゼーション、呼吸練習、呼吸筋トレーニング)			講義・実技	青野 健治		
3	呼吸理学療法 排痰法とは、排痰法の実際			講義・実技	青野 健治		
4	呼吸理学療法 排痰法(呼吸介助法)			講義・実技	青野 健治		
5	呼吸理学療法 運動処方			講義	青野 健治		
6	呼吸理学療法 酸素療法・人工呼吸療法			講義	青野 健治		
7	呼吸理学療法 ICUにおける理学療法、術後の呼吸理学療法			講義	青野 健治		
8	呼吸理学療法 ケーススタディ			講義	青野 健治		
9	がんのリハビリテーション がん(悪性腫瘍)とは、がんの分類、がんの検査			講義	島袋 尚美		
10	がんのリハビリテーション がんの進行と病期・ステージ、がんの治療、緩和ケア			講義	島袋 尚美		
11	がんのリハビリテーション 理学療法の目的と目標、理学療法評価			講義	島袋 尚美		
12	がんのリハビリテーション 理学療法を行う上でのリスク			講義	島袋 尚美		
13	がんのリハビリテーション 疾患別理学療法の概要			講義	島袋 尚美		
14	がんのリハビリテーション 終末期患者に対する対応、エビデンス			講義	島袋 尚美		
15	まとめ			講義	青野 健治/ 島袋 尚美		
期末試験 (100) %		提出物 () %		小テスト () %		実技試験 () %	
口頭試問 () %		発表 () %		その他 () () %			
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準理学療法学 内部障害理学療法学		奈良勲		医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
わからないことは授業中、授業外を問わず質問して構わないので、学修内容を理解するよう努めること。また、講義終了後には事後学修として、該当範囲の内容の整理をしておくこと。							

授業科目名	内部障害理学療法学						
担当者	青野 健治/ 非常勤講師						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)循環器疾患、糖尿病、腎疾患について、その病態を理解するとともに、理学療法評価および治療について学ぶ。							
(到達目標)代表的な循環器疾患の症状および病態を理解し、循環器疾患に対する理学療法の基本技術の目的や方法を理解する。 糖尿病の症状および病態を理解し、理学療法の基本技術の目的や方法を理解する。 腎疾患の症状および病態を理解し、理学療法の基本技術の目的や方法を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ほかの学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション(グループ学習の効果、課題提示)			講義	青野 健治		
2	循環器リハグループ学習			演習	青野 健治		
3	循環器リハツアー			演習	青野 健治		
4	糖尿病リハグループ学習			演習	青野 健治		
5	糖尿病リハツアー			演習	青野 健治		
6	腎リハグループ学習			演習	青野 健治		
7	腎リハツアー			演習	青野 健治		
8	検討会(各分野で確認する項目のまとめ)			演習	青野 健治		
9	循環器リハの実際			講義	非常勤講師		
10	循環器リハの実際			講義	非常勤講師		
11	糖尿病リハの実際			講義	非常勤講師		
12	糖尿病リハの実際			講義	非常勤講師		
13	腎リハの実際			講義	非常勤講師		
14	腎リハの実際			講義	非常勤講師		
15	まとめ			講義	青野 健治		
期末試験(80)% 提出物(20)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
標準理学療法学 内部障害理学療法学		奈良勲		医学書院			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
わからないことは授業中、授業外を問わず質問して構わないので、学修内容を理解するよう努めること。また、講義終了後には事後学修として、該当範囲の内容の整理をしておくこと。							

授業科目名	物理療法学						
担当者	大城 貞則						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)物理療法実施による生体反応、適応疾患、機器特性について教授する							
(到達目標) 各種物理療法の特性を理解する 各種物理療法が生体へ与える生理学的、機械的作用を理解する 各種物理療法の適応、禁忌を理解する							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義への積極的参加を求める							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	痛みの生理学と病理学				講義	大城 貞則	
2	痛みの生理学と病理学				講義	大城 貞則	
3	炎症と組織の修復				講義	大城 貞則	
4	関節可動域制限				講義	大城 貞則	
5	温熱療法に必要な物理学と生理学				講義	大城 貞則	
6	ホットパック・パラフィン				講義	大城 貞則	
7	水治療法				講義	大城 貞則	
8	超短波療法・極超短波療法				講義	大城 貞則	
9	超音波療法				講義	大城 貞則	
10	寒冷療法				講義	大城 貞則	
11	電気をを用いた治療法				講義	大城 貞則	
12	電気をを用いた治療法				講義	大城 貞則	
13	光線療法				講義	大城 貞則	
14	牽引療法・圧迫療法				講義	大城 貞則	
15	まとめ				講義と試験	大城 貞則	
期末試験(70)% 提出物()% 小テスト(30)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
PT・OTビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法 第1版		庄本 康治		洋土社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回、講義前又は講義後に復習の小テストを行います。講義後には、その都度、内容をまとめ復習を行い小テストに望んでください。							

授業科目名	物理療法演習						
担当者	大城 貞則						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)物理療法実施による生体反応、適応疾患、機器特性を踏まえ種々の物理療法機器の適応、実践を理解する							
(到達目標) 各種物理療法の特性を理解し、実践できる 各種物理療法の適応、禁忌を理解し、物理療法を実践できる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
グループワークが主となる。そのため演習への個々人の積極的な参加を求める。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	物理療法機器を使用した実験方法とデータ収集方法				演習	大城 貞則	
2	物理療法演習2(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
3	物理療法演習3(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
4	物理療法演習4(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
5	物理療法演習5(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
6	物理療法演習6(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
7	物理療法演習7(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
8	物理療法演習8(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
9	物理療法演習9(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
10	物理療法演習10(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
11	物理療法演習11(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
12	物理療法演習12(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
13	物理療法演習13(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
14	物理療法演習14(物理療法機器を使用した実験及びデータ収集)				演習	大城 貞則	
15	物理療法演習15(物理療法の実践及び小テスト)				まとめ及び小テスト	大城 貞則	
期末試験()% 提出物(60)% 小テスト(20)% 実技試験(20)% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者			出版社		
PT・OTビジュアルテキスト エビデンスから身につける物理療法 第1版		庄本 康治			羊土社		
書名		著者			出版社		
参考書							
書名		著者			出版社		
書名		著者			出版社		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
前期で学んだ物理療法学を事前に復習し、種々の機器特性を理解したうえで演習に臨むこと。							

授業科目名	義肢装具学総論						
担当者	砂田 宏典/ 島袋 公史						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 理学療法における義肢・装具の役割や治療の位置づけを理解し、装具利用に必要な知識や背景を学ぶ。							
(到達目標) 1. 義肢と装具の違いについて説明できる。 2. 各種義肢装具の使用目的を説明できる。 3. 義肢装具の製作過程を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。 他学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	義肢装具の歴史・義肢装具とチーム医療			講義	島袋 公史		
2	装具とは(種類・製作過程)			講義	島袋 公史		
3	義肢とは(種類・製作過程)			講義	島袋 公史		
4	装具の名称・付属品			講義	島袋 公史		
5	断端管理・術前術後の理学療法			講義	島袋 公史		
6	下肢装具(異常歩行)			講義	島袋 公史		
7	頸部装具(チェックアウト・種類・疾患別)			講義	砂田 宏典		
8	体幹装具(チェックアウト・種類・疾患別)			講義	砂田 宏典		
9	その他装具(小児用装具・免荷装具など)			講義	砂田 宏典		
10	上肢装具(種類・対応障害)			講義	砂田 宏典		
11	義手の種類と特徴			講義	砂田 宏典		
12	義足の部品			講義	砂田 宏典		
13	義足の特徴			講義	砂田 宏典		
14	義足のチェックポイント			講義	砂田 宏典		
15	まとめ			講義・試験	島袋 公史		
期末試験(70%)% 提出物()% 小テスト(30%)% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
義肢装具学テキスト		細田多穂、他		南江堂			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
PT・OTビジュアルテキスト 義肢装具学 第1版		高田治実、他		羊土社			
書名		著者		出版社			
脳卒中の下肢装具 第3版		渡邊英夫、他		医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・考資料は適時配布します。 ・わからないことなどがあれば、講義中でもかまわないので質問するようにしましょう。							

授業科目名	義肢装具学各論						
担当者	島袋 公史/ 立津 統						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 義肢装具総論で学んだ基礎知識をもとに義肢装具の構造と機能を理解し、適応となる疾患や障害を学ぶ。加えて装具の処方及び効果判定や、切断術直後の断端管理や義肢適合のチェックアウトについて学習し、理学療法士としての役割を理解する。							
(到達目標) 1. 装具のチェックアウトや種類ならびに適応疾患について学習する。 2. 義足の種類や構造ならびにベンチアライメントやスタティックアライメントについて学習する。 3. 義肢装着者の歩行分析ならびに指導方法について学習する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。 他学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	短下肢装具	チェックアウト、種類		講義	島袋 公史		
2	短下肢装具	疾患別		講義	島袋 公史		
3	長下肢装具	チェックアウト、種類		講義	立津 統		
4	長下肢装具	疾患別		講義	立津 統		
5	靴型装具			講義	島袋 公史		
6	上肢装具			講義	島袋 公史		
7	装具 歩行分析・指導			講義	立津 統		
8	ソケットの形状、種類			講義	立津 統		
9	大腿義足(種類・アライメント)			講義	立津 統		
10	下腿義足(種類・アライメント)			講義	立津 統		
11	足部義足(種類・アライメント)			講義	立津 統		
12	歩行分析・指導			講義	立津 統		
13	歩行分析・指導			講義	島袋 公史		
14	歩行分析・指導			講義	島袋 公史		
15	まとめ			講義	島袋 公史		
期末試験(70)%		提出物(10)%		小テスト(20)%		実技試験()%	
口頭試問()%		発表()%		その他()()%			
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
義肢装具学テキスト		細田多穂、他		南江堂			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学		高田治美、他		羊土社			
書名		著者		出版社			
脳卒中の下肢装具 第3版		渡邊英夫、他		医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・わからないことなどがあれば、講義中でもかまわないので質問するようにしましょう。 ・参考資料は適時配布します。							

授業科目名	日常生活活動						
担当者	天願 博敦/ 島袋 尚美						
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)日常生活活動(Activity of Daily Living)の概念、分類、評価について学び、基礎的知識を理解した上でADL評価を行っていく。評価した内容に基づき、実技等を通して介助および動作指導を実施していく。							
(到達目標) ADLと障害の概念を理解しICIDH、ICF等を用いて構造化することが出来る。 FIM、BI等の指標を用いてADL評価が行える。 ADL動作を観察、評価し適切な動作指導・介助が行える。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
他の学生の学習機会を損なう行為(講義に関係のない私語など)を禁止する。講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	ADLの概念と範囲			講義	天願 博敦		
2	ADLと障害(ICIDHとICF)			講義	天願 博敦		
3	ADL評価法			講義	天願 博敦		
4	ADL評価法の実際 (FIM・BI)			講義	島袋 尚美		
5	ADL評価法の実際 (FIM・BI)			講義	島袋 尚美		
6	実技演習 (寝返り動作・実技グループにて)			実技	天願 博敦		
7	実技演習振り返り(寝返り動作)			実技	天願 博敦		
8	実技演習 (起き上がり動作・実技グループにて)			実技	天願 博敦		
9	実技演習振り返り(起き上がり動作)			実技	天願 博敦		
10	実技演習 (立ち上がり動作・実技グループにて)			実技	天願 博敦		
11	実技演習振り返り(立ち上がり動作)			実技	天願 博敦		
12	実技演習 (座位・立位・その他など・実技グループにて)			実技	天願 博敦		
13	実技演習振り返り(座位・立位・その他など)			実技	天願 博敦		
14	身の回り動作のについて			講義	天願 博敦		
15	まとめ			講義・試験	天願 博敦		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試験()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
適宜資料を配布します。分からない事は、授業中でも構わないので質問すること。授業中の内容は必ずメモを取ること。							

授業科目名	日常生活活動						
担当者	佐久田 衛/ 島袋 公史						
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 補助具、自助具や環境設定についての概念およびその適応について講義や演習を通して学習する。							
(到達目標) 症状や障害に応じた適切な歩行補助具を選択し、歩行の介助・指導ができる 症状や障害に応じた適切な車いすを選択・調整し、車いすの介助・操作指導ができる 生活環境を評価・調整し、環境設定を提案できる							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義で配布する資料や文書等をインターネット上に公開することを禁止する 他の学生の学習機会を損なう行為(講義に関係のない私語など)を禁止する							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容				方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	歩行と歩行補助具				講義・演習	佐久田 衛	
2	演習 杖歩行				演習	佐久田 衛	
3	演習 歩行器歩行				演習	佐久田 衛	
4	車いすの種類と構造				講義・演習	佐久田 衛	
5	演習 普通型車いす				演習	佐久田 衛	
6	演習 リクライニング車いす・他				演習	佐久田 衛	
7	リハビリテーションにかかわる社会資源				講義	佐久田 衛	
8~10	リハビリテーション支援機器(起居・移乗・移動)				実技	島袋 公史	
11	リハビリテーション支援機器(日常生活活動)				実技	島袋 公史	
12	バリアフリー検証				講義・演習	島袋 公史	
13~14	バリアフリー検証 発表				演習	島袋 公史	
15	まとめ				講義	佐久田 衛/ 島袋 公史	
期末試験(60)% 提出物(10)% 小テスト()% 実技試験(30)% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者			出版社		
日常生活活動学テキスト改訂第3版		河元岩男/坂口勇人/村田伸 編			南江堂		
書名		著者			出版社		
PT・OTビジュアルテキスト		柴 喜崇, 下田信明 / 編			羊土社		
参考書							
書名		著者			出版社		
日常生活活動(ADL)第2版		千住秀明			神陵文庫		
書名		著者			出版社		
日常生活活動学・生活環境学 第5版		鶴見隆正/隆島研吾			医学書院		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
わからないことがあれば、講義中でも構わないので質問すること 課題発表があるので、不明な点は随時担当教員に確認すること							

授業科目名	触察法						
担当者	佐久田 衛/ 天願 博敦						
開講年次	1年	開講期	1年前期,1年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 触察は理学療法分野において、評価・治療手段の重要な要素となる。本講義で触察の知識・技術を身につけ、後に受講する評価学や治療学の講義に役立てる。							
(到達目標) 1. 骨・筋を触察する際の要点や注意点が説明できる 2. 体表から骨指標や筋の走行を示すことができる 3. 本講義を通して患者様への接し方を学ぶ							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・解剖学、運動学の進捗状況に照らし合わせ、骨の触察を7回、筋の触察を7回実施する ・実技中心の講義のため、動きやすい格好または肌が露出できるよう準備すること ・衛生管理上 爪は切る・髪は結ぶなど清潔を保つよう心がける。不衛生もしくは危険と判断した場合には、その場で改善を求めること 授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション、触察の方法・注意点			講義・実技	佐久田 衛		
2	上肢帯の骨			講義	佐久田 衛		
3	上肢帯の骨			講義	佐久田 衛		
4	下肢帯の骨			講義	佐久田 衛		
5	下肢帯の骨			講義	佐久田 衛		
6	骨盤帯、頸椎の骨			講義	佐久田 衛		
7	脊椎			講義	佐久田 衛		
8	上肢帯の筋			講義	天願 博敦		
9	上肢帯の筋			講義	天願 博敦		
10	上肢帯の筋			講義	天願 博敦		
11	下肢帯の筋			講義	天願 博敦		
12	下肢帯の筋			講義	天願 博敦		
13	下肢帯の筋			講義	天願 博敦		
14	頸部・体幹の筋			講義	天願 博敦		
15	まとめ			講義・試験	佐久田 衛/ 天願 博敦		
期末試験 () % 提出物 (10) % 小テスト (50) % 実技試験 (30) % 口頭試問 (10) % 発表 () % その他 () () %							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
機能解剖と触診		MKPT研究会、工藤慎太郎 編集		羊土社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
運動療法のための機能解剖学的触診技術 改訂第2版		林 典雄 執筆		MEDICAL VIEW			
書名		著者		出版社			
プロメテウス 解剖学総論/運動器系 第3版		坂井 健雄、松村 譲児		医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・本講義は解剖学、運動学と関連づけると理解が深まります。各講義前に30分程度、予習として取り入れてください ・ヒトの身体は性差や個体差があります。講義ではペアの触察だけでなく、より多くの人に触れ、触察の技術を高めてください							

授業科目名	理学療法研究法						
担当者	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	60	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 研究の視点および進め方と要点を学ぶことを目的とする。主に方法論を重点的に理解し、結果に至るまでを学習する。また、データの性質を理解し、統計解析手法の選択や結果の見方、活用方法を学ぶ。							
(到達目標) 批判的視点での思考過程を理解する。また、研究の流れを理解し、方法論を把握する。さらに問題提起の視点を模索することができる。 ・研究テーマに対して、統計解析手法を選択し、統計解析ソフトを使用することができる。さらに出力された結果を理解し、正しく表示、活用することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
他の学生の学習機会を損なう行為(講義に関係のない私語、行為など)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板及びスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション、理学療法研究の必要性(EBM・EBPT、診療ガイドライン)			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
2	研究デザイン			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
3	研究計画・研究倫理			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
4	データの尺度			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
5	データ特性の表現(代表値・ばらつき・Excel 演習)			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
6	文献検索			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
7	推測統計			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
8	推測統計			講義	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
9	文献検索の方法: インターネットを利用した論文の検索方法について学ぶ			講義・演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
10	先行研究論文の抄読			講義・演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
11	研究計画書の立て方			講義・演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
12	研究計画書の作成: 規定の書式に従い計画書を作成し、担当教員の指導を受ける			講義・演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
13	研究データ収集			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
14	研究データ収集			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
15	収集した研究データの整理・解析			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
16	収集した研究データの整理・解析			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
17	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
18	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
19	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
20	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
21	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
22	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
23	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
24	論文作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
25	プレゼンテーション資料、配付資料作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
26	プレゼンテーション資料、配付資料作成			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
27	研究報告会			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
28	研究報告会			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
29	研究報告会			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
30	研究報告会			演習	専任教員/ 鳥袋 尚美/ 毛利 光宏		
期末試験(80)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表(20)% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
すぐできる!リハビリテーション統計(解析ソフト付)		(監修)山本澄子、谷浩明		南江堂			
書名		著者		出版社			

参 考 書		
書 名	著 者	出 版 社
書 名	著 者	出 版 社
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「研究法」に関しては、適宜資料を配布します。PC、スマートフォンでの検索作業がありますので持参してください。 ・わからないことは質問し、学習内容を理解するよう努めてください。 ・また、毎講義終了時には事後学習として、該当範囲の内容の整理をしておいてください。 		

授業科目名	臨床理学療法演習						
担当者	専任教員/非常勤講師						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
<p>(概要)理学療法評価学および治療学にて学習した内容を基に、対象者の状態や病態に即した検査項目の抽出を論理的に展開し、評価実習の準備として、知識及び実技の総復習を行う。</p> <p>障害理解の根幹である障害論を学習し、さらには情報収集から治療プログラム立案までの一連の理学療法評価プロセスを学習する</p> <p>(到達目標)患者の状態、病態に即した検査項目を抽出し、その理由を論理的に説明できるようになる。 検査データをアセスメントし、患者の問題点を論理的に抽出できるようになる</p>							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション			講義	専任教員		
2	運動器系疾患理学療法(疾患に即した検査項目の抽出)			講義・演習	専任教員		
3	運動器系疾患理学療法(疾患に即した検査項目の抽出)			講義・演習	専任教員		
4	運動器系疾患理学療法(検査の実施)			演習	専任教員		
5	運動器系疾患理学療法(検査の実施)			演習	専任教員		
6	内部障害理学療法(疾患に即した検査項目の抽出)			講義・演習	専任教員		
7	内部障害理学療法(疾患に即した検査項目の抽出)			講義・演習	専任教員		
8	内部障害理学療法(検査の実施)			演習	専任教員		
9	内部障害理学療法(検査の実施)			演習	専任教員		
10	中枢神経系理学療法(疾患に即した検査項目の抽出)			講義・演習	専任教員		
11	中枢神経系理学療法(疾患に即した検査項目の抽出)			講義・演習	専任教員		
12	中枢神経系理学療法(検査の実施)			演習	専任教員		
13	中枢神経系理学療法(検査の実施)			演習	専任教員		
14	評価実習に向けての知識の確認			講義	専任教員		
15	評価実習に向けての実技の確認			実技	専任教員/非常勤講師		
16	評価実習に向けての実技の確認			実技	専任教員/非常勤講師		
期末試験(50)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験(50)% 口頭試問()% 発表()% その他() ()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	臨床理学療法演習						
担当者	専任教員/ 非常勤講師						
開講年次	3年	開講期	3年前期,3年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)運動器系疾患、内部障害、中枢神経系疾患それぞれで症例を提示し、プログラム立案およびリスク管理に配慮した基本的運動療法を实践する。							
(到達目標)抽出した問題点の優先順位を挙げ、その問題点に即した一般的理学療法の立案ができる。疾患別または時期別(急性期・回復期・維持期)の基本的な運動療法ができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義およびグループ活動に対し、積極的な参加を求める。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	運動器系疾患理学療法			講義・演習	専任教員		
	運動器系疾患理学療法			講義・演習	専任教員		
	運動器系疾患理学療法			講義・演習	専任教員		
	内部障害理学療法			講義・演習	専任教員		
	内部障害理学療法			講義・演習	専任教員		
	内部障害理学療法			講義・演習	専任教員		
	中枢神経系理学療法			講義・演習	専任教員		
	中枢神経系理学療法			講義・演習	専任教員		
	中枢神経系理学療法			講義・演習	専任教員		
	CBT			試験	専任教員		
	OSCE			実技試験	専任教員/ 非常勤講師		
	OSCE			実技試験	専任教員/ 非常勤講師		
	運動器系疾患理学療法まとめ			講義・演習	専任教員		
	内部障害理学療法まとめ			講義・演習	専任教員		
	中枢神経系理学療法まとめ			講義・演習	専任教員		
期末試験(20)% 提出物(20)% 小テスト()% 実技試験(60)% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
提出物などは講義(運動器系疾患・内部障害・中枢神経系)によって内容が若干異なります。							

授業科目名	予防理学療法論						
担当者	天願 博敦/ 非常勤講師						
開講年次	3年	開講期	3年前期,3年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)近年疾病や外傷を防ぐという予防の重要性が示されている。理学療法士においても予防の面での関りが求められるようになってきており、予防理学療法に通じる疾病予防や健康管理のあり方について学ぶ。							
(到達目標)ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法士の役割について説明できる。 産業理学療法における理学療法士の役割について説明できる。 介護予防における理学療法士の役割について説明できる。 健康維持,健康増進における理学療法士の役割について説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
ほかの学生の学習機会を損なう行為(主に私語)を禁止する。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影を禁止する。 講義で配布する資料や文章等をインターネット上に公開することを禁止する。							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	オリエンテーション(授業の概要と進め方)			講義	天願 博敦		
	ウィメンズヘルスの概念、女性のライフサイクルと健康			講義	非常勤講師		
	ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法士の役割			講義	非常勤講師		
	ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法の実際			講義	非常勤講師		
	産業理学療法の概要			講義	非常勤講師		
	産業理学療法における理学療法士の役割			講義	非常勤講師		
	産業理学療法の実際			講義	非常勤講師		
	介護予防の現状			講義	非常勤講師		
	介護予防と介護保険			講義	非常勤講師		
	介護予防における理学療法士の役割			講義	非常勤講師		
	介護予防における理学療法			講義	非常勤講師		
	健康維持,健康増進の現状			講義	非常勤講師		
	健康維持,健康増進における理学療法士の役割			講義	非常勤講師		
	健康維持,健康増進における理学療法の実際			講義	非常勤講師		
	まとめ			講義・試験	天願 博敦		
	期末試験(100)%	提出物()%	小テスト()%	実技試験()%			
	口頭試問()%	発表()%	その他()%				
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社				
	書名	著者	出版社				
参考書							
	書名	著者	出版社				
	書名	著者	出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	生活環境論						
担当者	天願 博敦/ 島袋 尚美						
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 基本的な生活情報、環境情報の重要性を知ることにより、対象者の今後の治療方針のあり方にどのように影響してくるのかを考える力を養う。また、理学療法だけではなく、生活環境を変えるための手段をどのように用い、患者に対応する技術があることも知る。							
(到達目標) 環境整備の概要を理解する(基本的事項)。 環境整備の方法論を理解する。住宅改修内容、福祉用具等、 実際場面を想定し、ある程度の改修方法を展開できるようにする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	生活環境学とは			講義	天願 博敦		
2	住環境についての法的諸制度			講義	天願 博敦		
3	生活環境整備の留意点			講義	天願 博敦		
4	生活環境整備の留意点			講義	天願 博敦		
5	住環境の評価と改善計画			講義	島袋 尚美		
6	住環境の評価と改善計画			講義	島袋 尚美		
7	生活環境改修方法 疾患別			講義	天願 博敦		
8	生活を支えるリハ関連機器			講義・実技	島袋 尚美		
9	生活を支えるリハ関連機器			講義・実技	島袋 尚美		
10	生活を支えるリハ関連機器			講義・実技	島袋 尚美		
11	生活を支えるリハ関連機器			講義・実技	島袋 尚美		
12	生活環境整備 事例			講義	天願 博敦		
13	住環境整備課題発表			演習	天願 博敦/ 島袋 尚美		
14	住環境整備課題発表			演習	天願 博敦/ 島袋 尚美		
15	まとめ			講義	天願 博敦		
期末試験(60)% 提出物(20)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表(20)% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
適宜、資料を配布します。							

授業科目名	地域理学療法学						
担当者	非常勤講師						
開講年次	2年	開講期	2年前期,2年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)地域理学療法学の中で「地域理学療法学」とは何かを示し、地域というフィールドで理学療法士の役割として何が求められているかを学ぶ。							
(到達目標) 地域理学療法学とは何かを説明できる。 地域社会で知っておくべき制度などを知る。 理学療法士が地域で働くイメージができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	地域理学療法の背景および概念			講義			
2	地域リハビリテーションの流れ			講義			
3	地域リハビリテーションの流れ			講義	非常勤講師		
4	地域リハビリテーションを支えるシステム			講義	非常勤講師		
5	介護予防と地域リハビリテーションについて			講義	非常勤講師		
6	障害者の心理と障害受容			講義	非常勤講師		
7	対象者の捉え方(ニーズの捉え方)			講義	非常勤講師		
8	地域における連携			講義	非常勤講師		
9	地域理学療法の展開(成人障害者施設)			講義	非常勤講師		
10	地域理学療法の展開(介護老人保健施設)			講義	非常勤講師		
11	地域理学療法の展開(通所リハビリテーション)			講義	非常勤講師		
12	地域理学療法の展開(訪問リハビリテーション)			講義	非常勤講師		
13	地域理学療法の実際			講義	非常勤講師		
14	地域理学療法の実際			講義	非常勤講師		
15	まとめ			講義・試験	非常勤講師		
期末試験(100)% 提出物()% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
参考書							
書名		著者		出版社			
書名		著者		出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

授業科目名	地域理学療法学						
担当者	天願 博敦/ 島袋 尚美/ 非常勤講師						
開講年次	3年	開講期	3年前期,3年後期	授業回数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)地域理学療法について、地域で活動されている臨床の先生の講義を通じて将来自分自身が、地域という「環境」にて何ができるかを学ぶ。							
(到達目標) 病院以外での場所での理学療法士の業務のあり方を知る。 地域という対象者が住み慣れた場所(生活)で何を必要としているのかを知る。 講師から得られた情報を元にして自身が何が出来るか、今後の理学療法士像と絡めて学ぶ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール 事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	地域理学療法 についての概要説明			講義	天願 博敦		
2	地域理学療法での活動、考え方			講義	非常勤講師		
3	介護保健における理学療法についての活動について			講義	非常勤講師		
4	行政における理学療法のあり方			講義	非常勤講師		
5	地域での特殊疾患等における理学療法の役割			講義	非常勤講師		
6	士会活動におけるスポーツ推進活動での理学療法の関わり			講義	非常勤講師		
7	通所サービスでの理学療法士の役割、関わり方について			講義	非常勤講師		
8	ターミナルケアにおける理学療法士の役割、関わりについて			講義	島袋 尚美		
9	訪問リハビリテーションにおける理学療法士の役割			講義	非常勤講師		
10	訪問リハビリテーションにおける理学療法士の役割			講義	非常勤講師		
11	施設所属以外での理学療法士の関わり方			講義	非常勤講師		
12	施設所属以外での理学療法士の関わり方			講義	非常勤講師		
13	施設所属以外での理学療法士の関わり方			講義	非常勤講師		
14	施設所属以外での理学療法士の関わり方			講義	非常勤講師		
15	まとめ				天願 博敦		
期末試験(60)% 提出物(40)% 小テスト()% 実技試験()% 口頭試問()% 発表()% その他()()%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者			出版社		
書名		著者			出版社		
参考書							
書名		著者			出版社		
書名		著者			出版社		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							

